

平成29年度現在の 真庭圏域の保健課題(抜粋)

真庭保健所長
井上康二郎

1

データについて

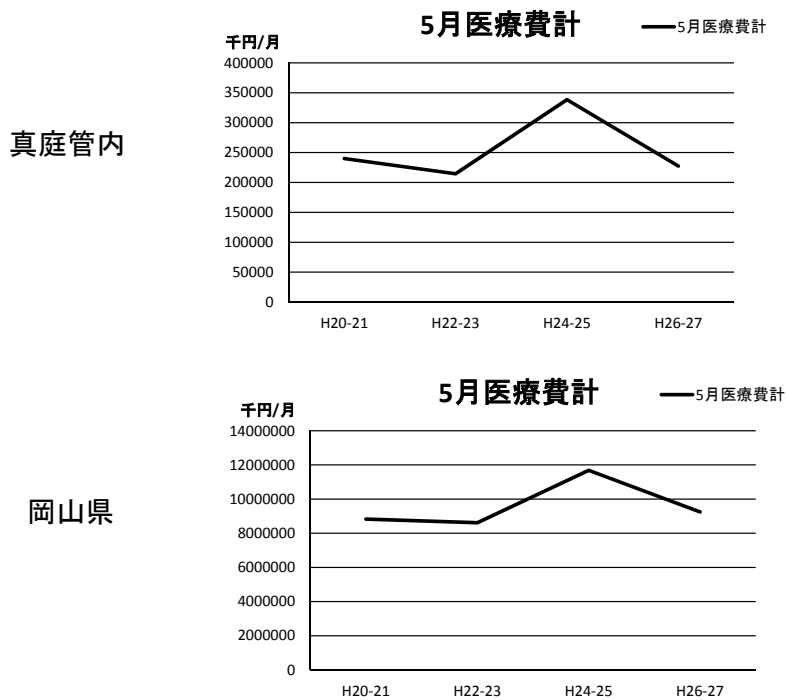
- 医療費の変化、内訳は、国保5月診療分データ(74歳まで)からである。
- 医療費は、千円/月、コストは千円/件数
- SCR、SMRは、それぞれ、国保5月診療分の受診率と死亡率からの年齢調整比であり、H20-21年の県の率を1とした比である。H28単独の場合は、H20年の率を1とした場合である。

2

医療費の変化、内訳 (国保5月診療分からの推定)

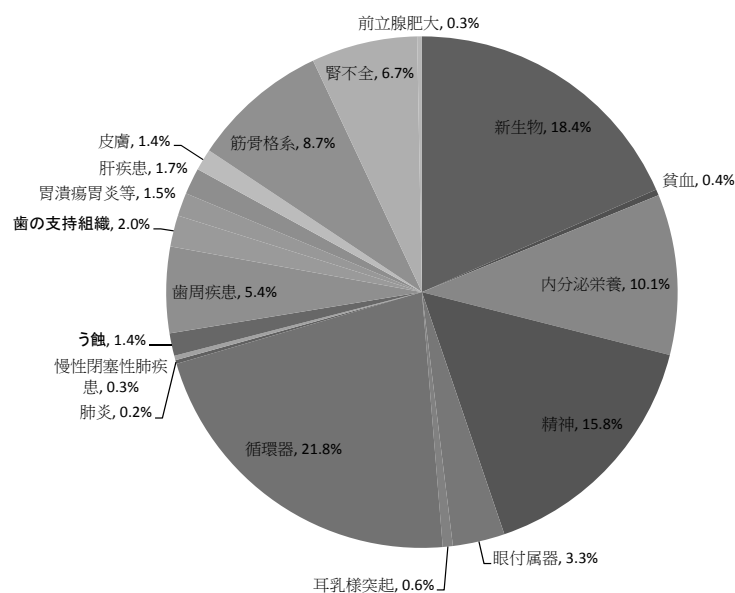
3

国保5月診療分(74歳まで)の変化



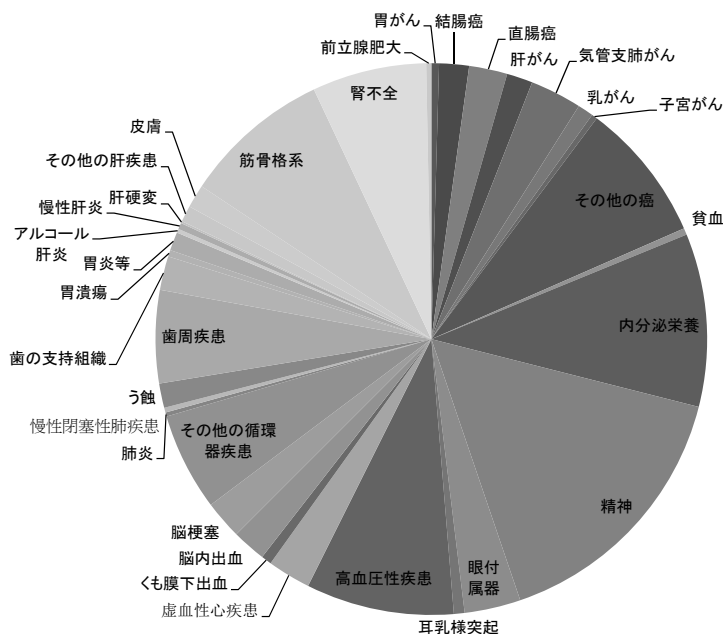
4

H26-27の国保5月診療分医療費(74歳まで)の内訳



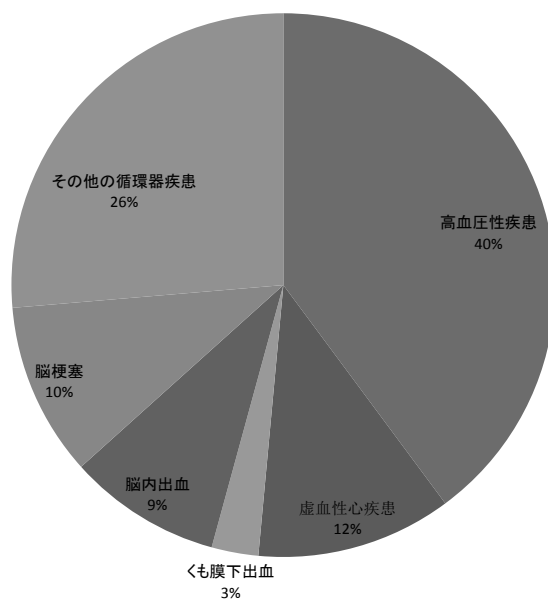
5

H26-27の国保5月診療分医療費(74歳まで)の内訳



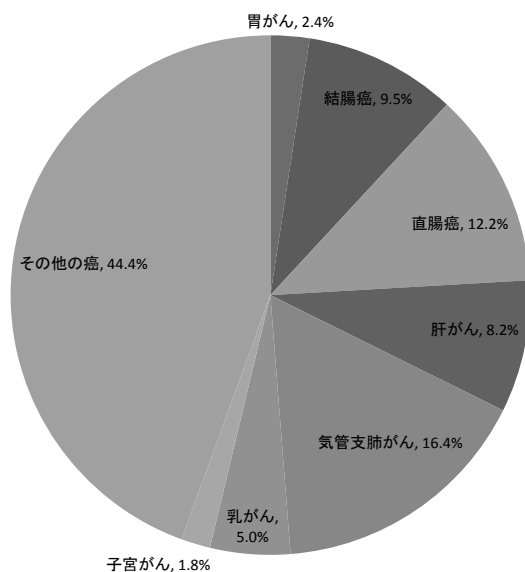
6

H26-27の国保5月診療分医療費内訳 (循環器疾患:推定)



7

H26-27の国保5月診療分医療費(74歳まで)の内訳(新生物)



8

医療費のまとめ

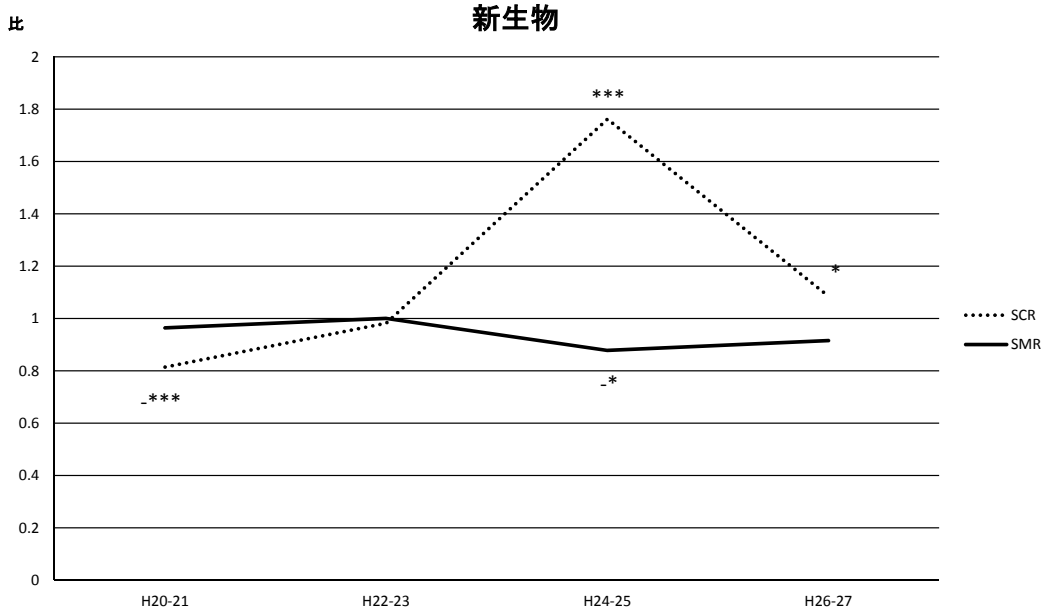
- 5月診療分を見る範囲では、真庭圏域が経年で減少しており、岡山県でも同様である。
- 1位:循環器疾患、2位:新生物、3位:精神疾患、4位:内分泌栄養
- 循環器疾患の中で
1位:高血圧性疾患、2位:虚血性心疾患、3位:脳梗塞、4位:脳内出血
- 新生物の中で
1位:気管支肺がん、2位:直腸癌、3位:結腸癌、4位肝がん、5位:乳がん

9

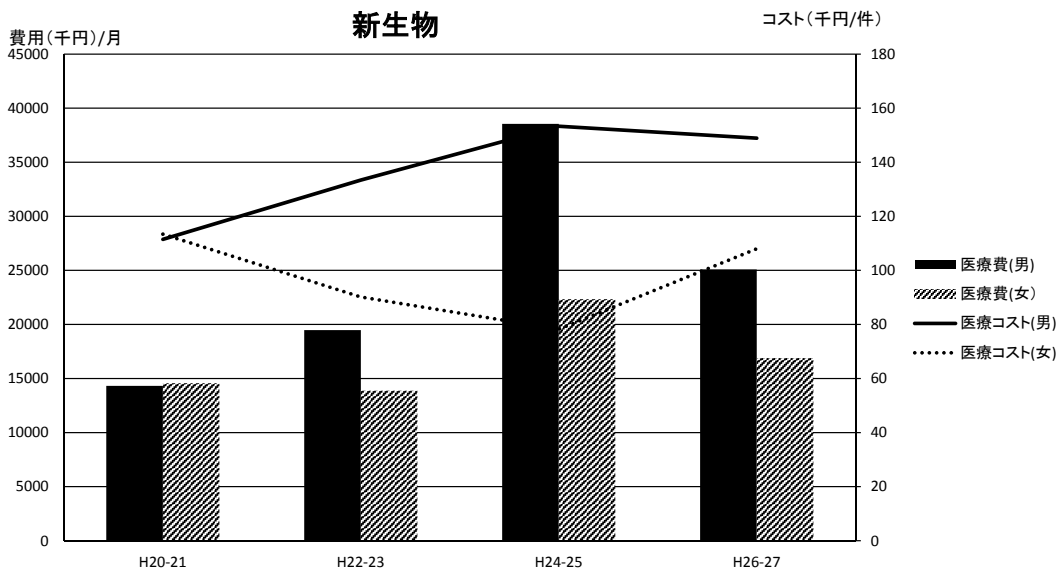
悪性新生物

10

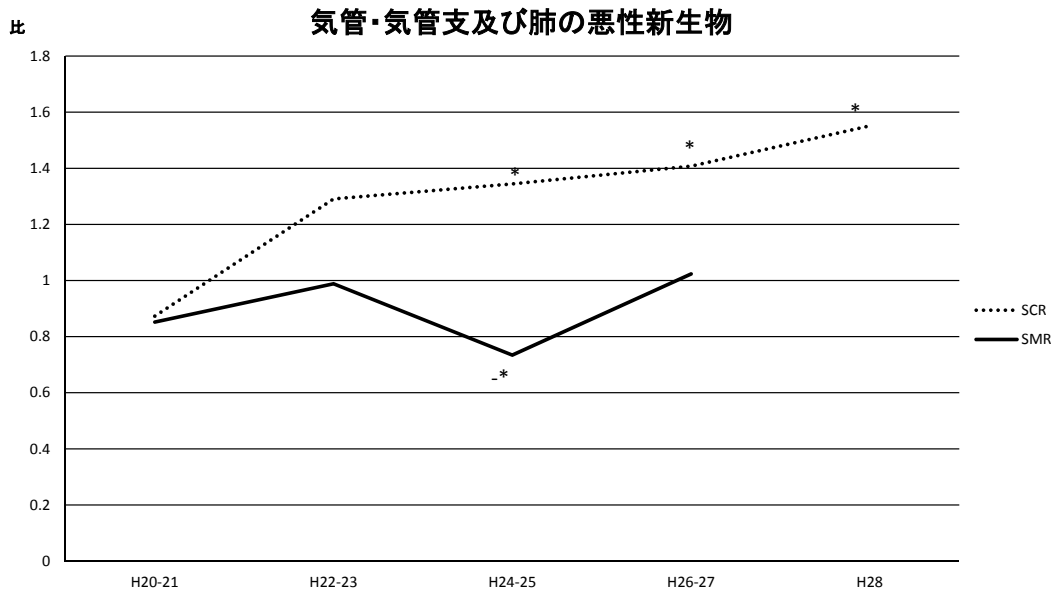
新生物の死亡と受診



新生物の医療費、コスト

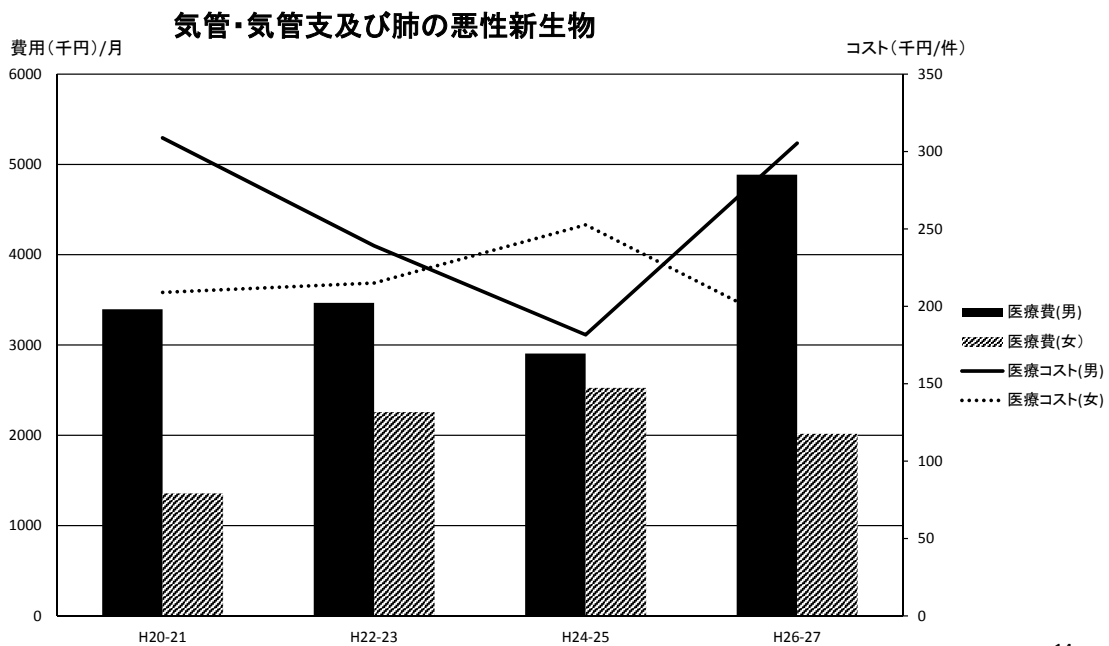


気管・気管支及び肺の悪性新生物の 受診と死亡



13

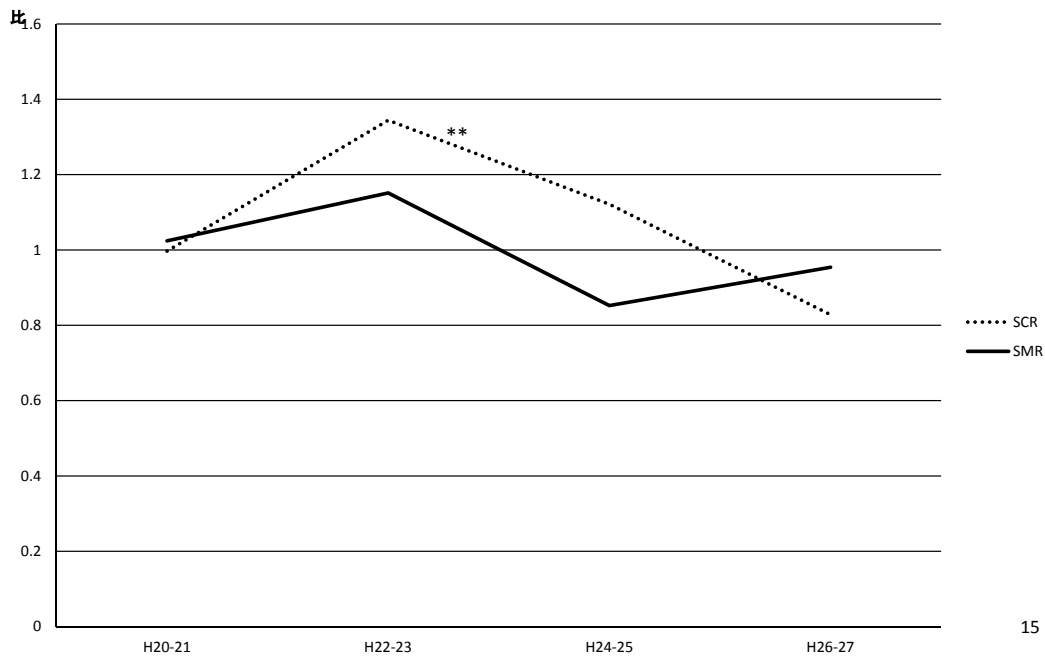
気管・気管支及び肺の悪性新生物の 医療費、コスト



14

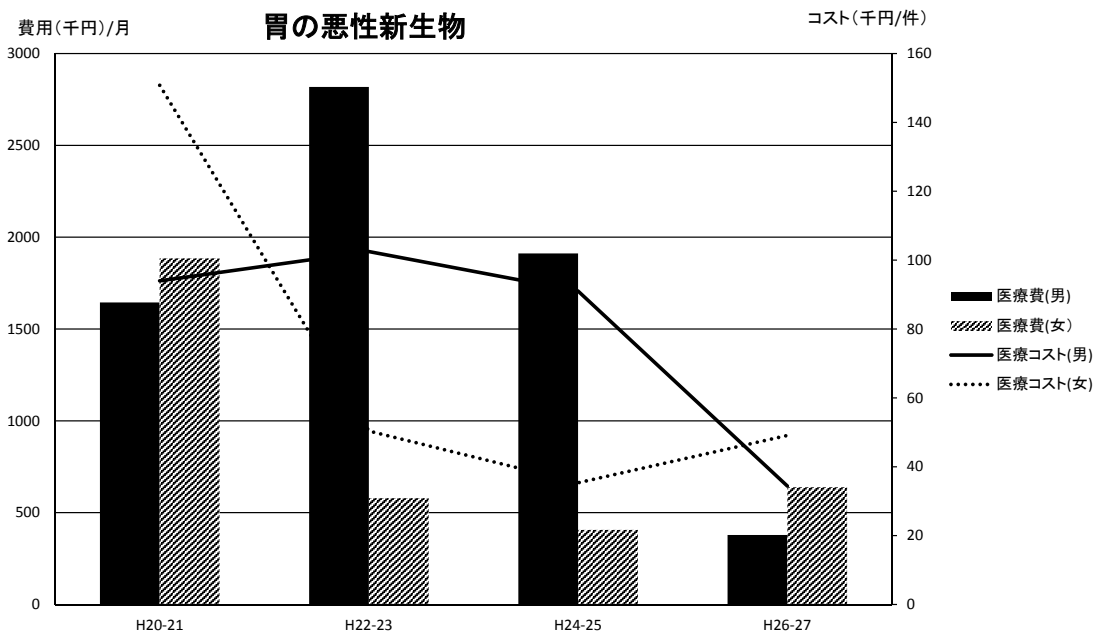
胃がんの死亡、受診について

胃の悪性新生物



15

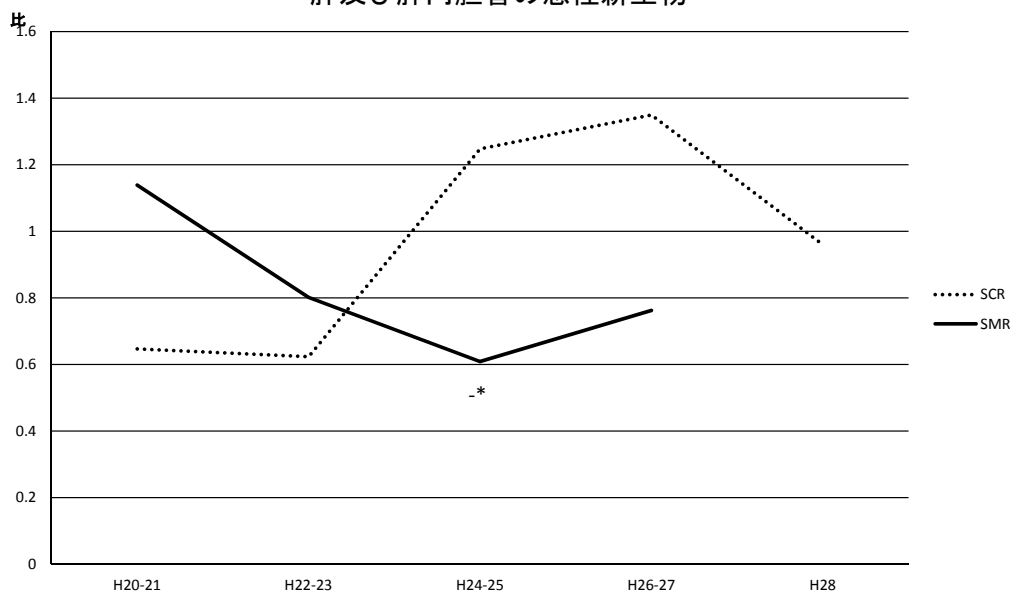
胃がんの医療費、コスト



16

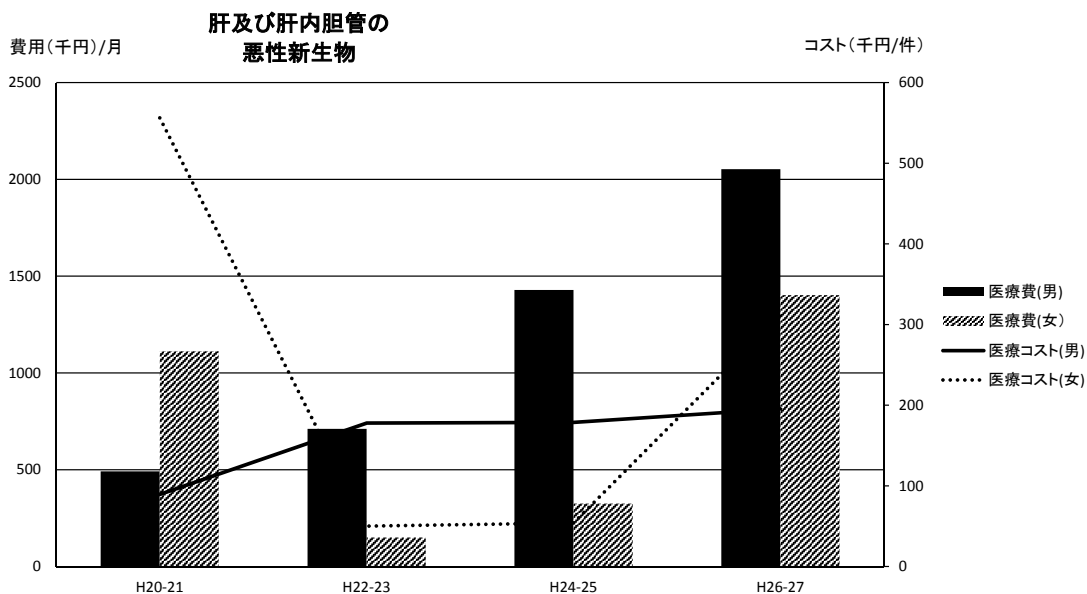
肝及び肝内胆管の悪性新生物 の死亡、受診について

肝及び肝内胆管の悪性新生物



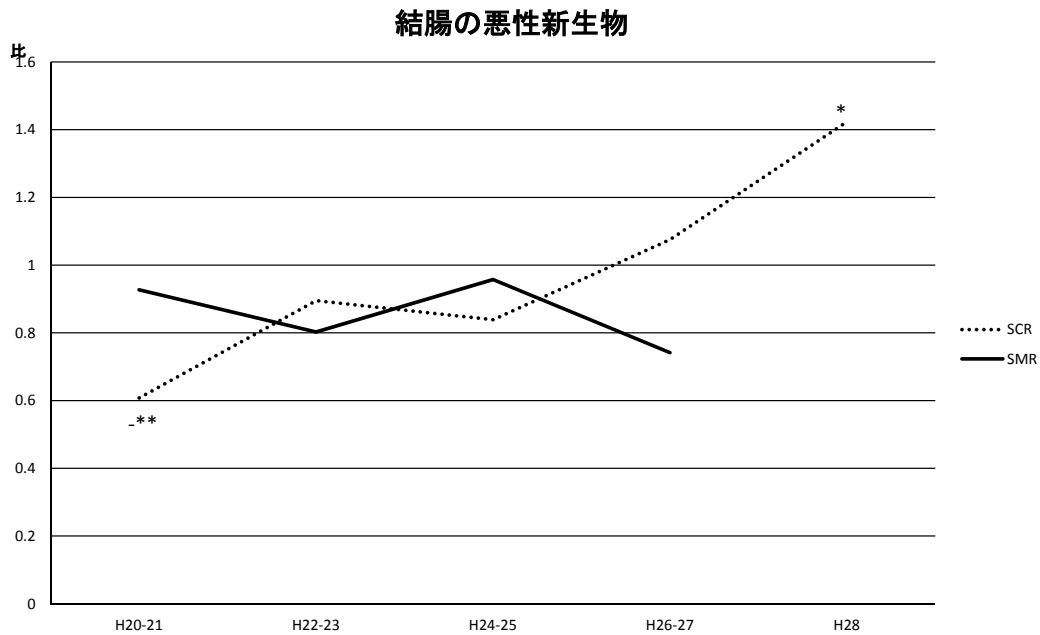
17

肝及び肝内胆管の悪性新生物 の医療費、コスト



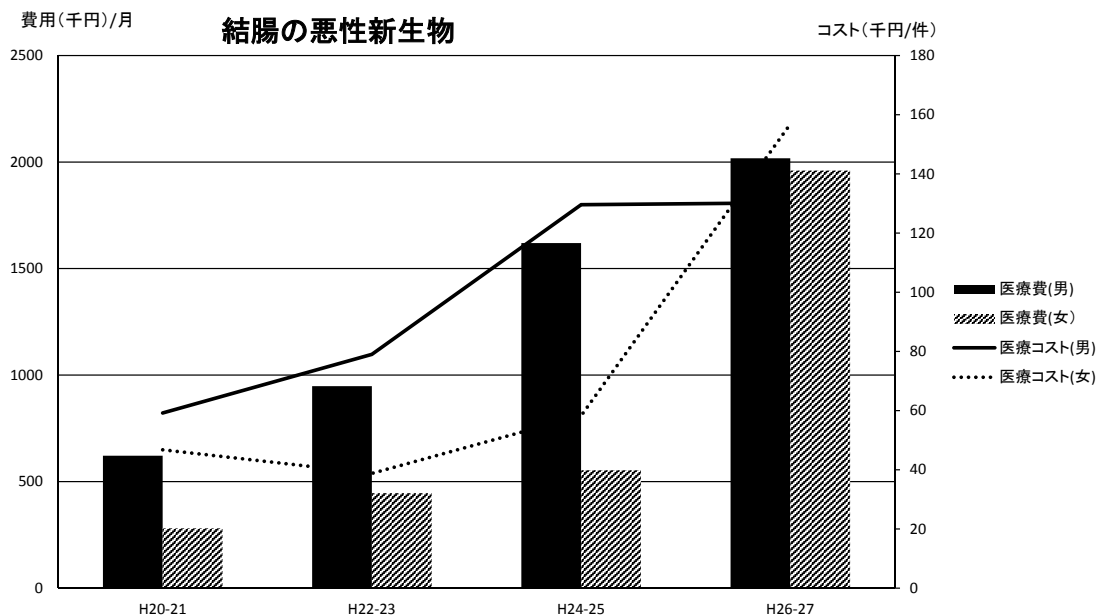
18

結腸の悪性新生物の死亡、受診



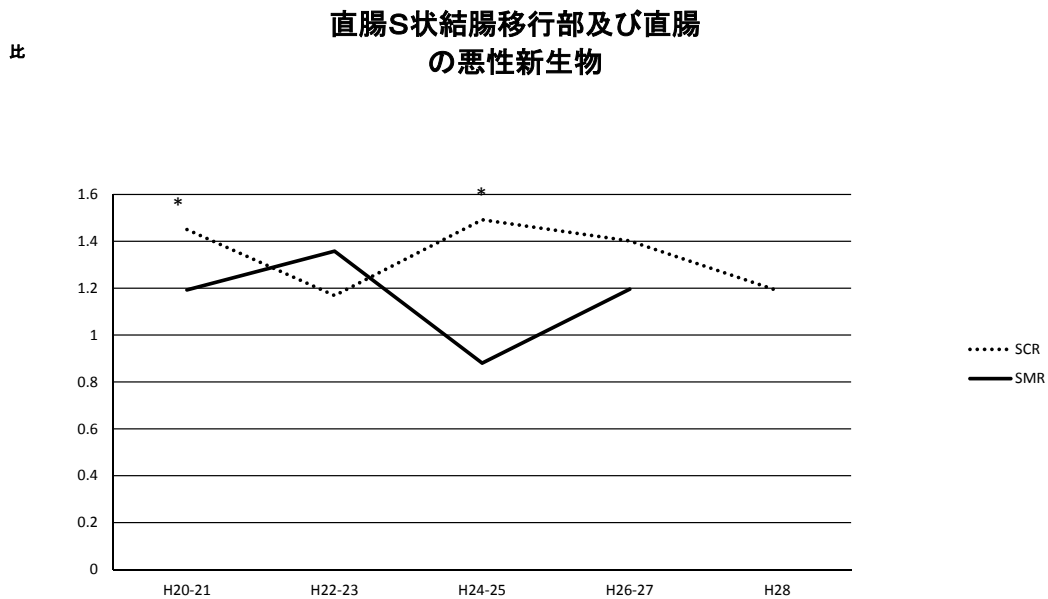
19

結腸の悪性新生物の医療費、コスト



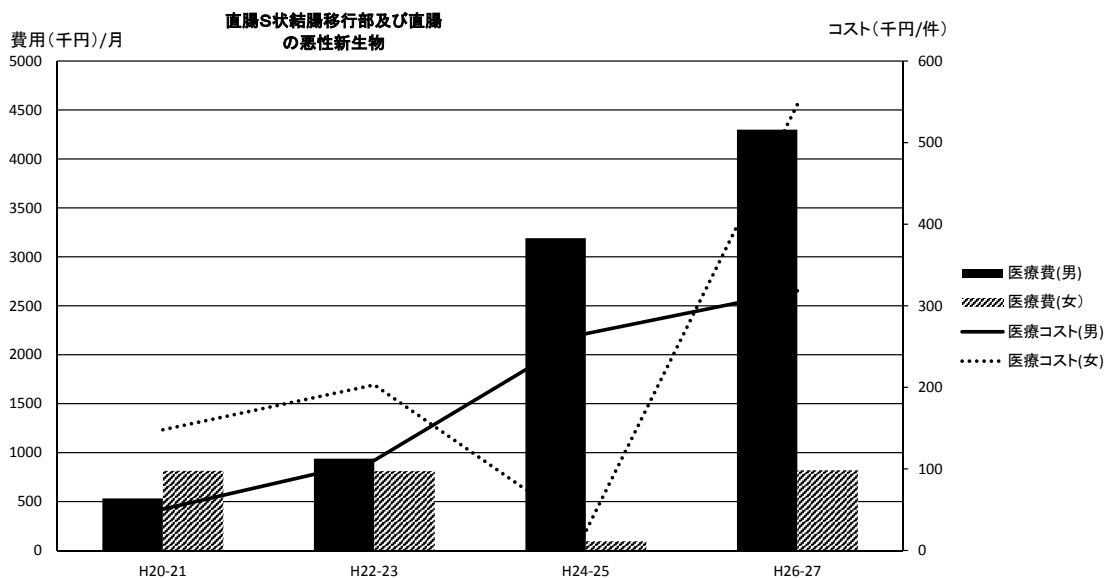
20

直腸S状結腸の悪性新生物の死亡、 受診



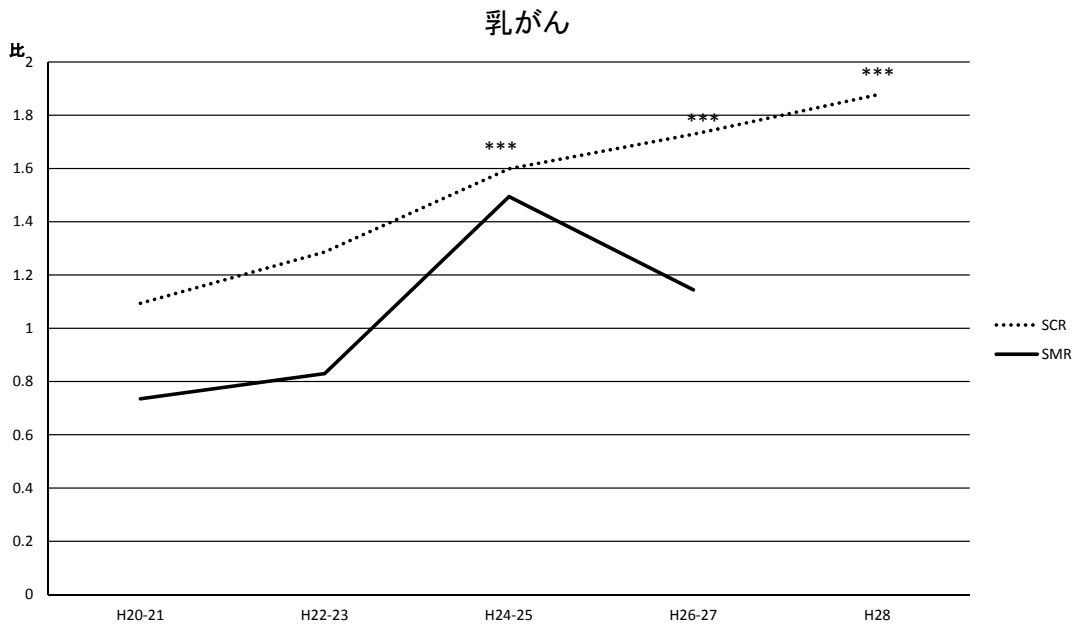
21

直腸S状結腸の悪性新生物の医療 費、コスト

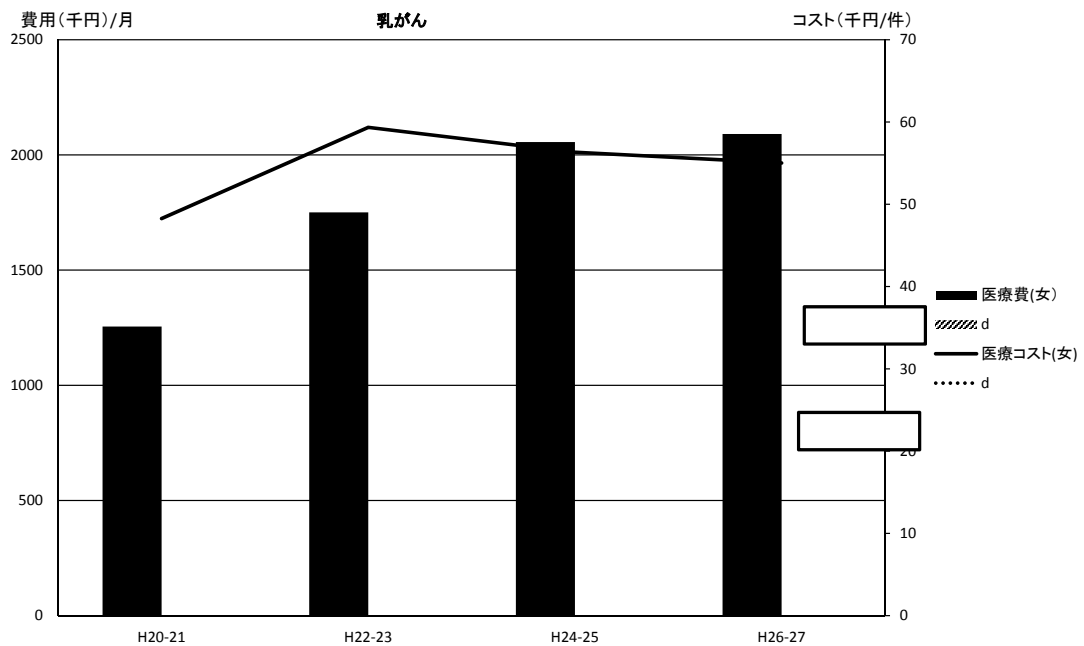


22

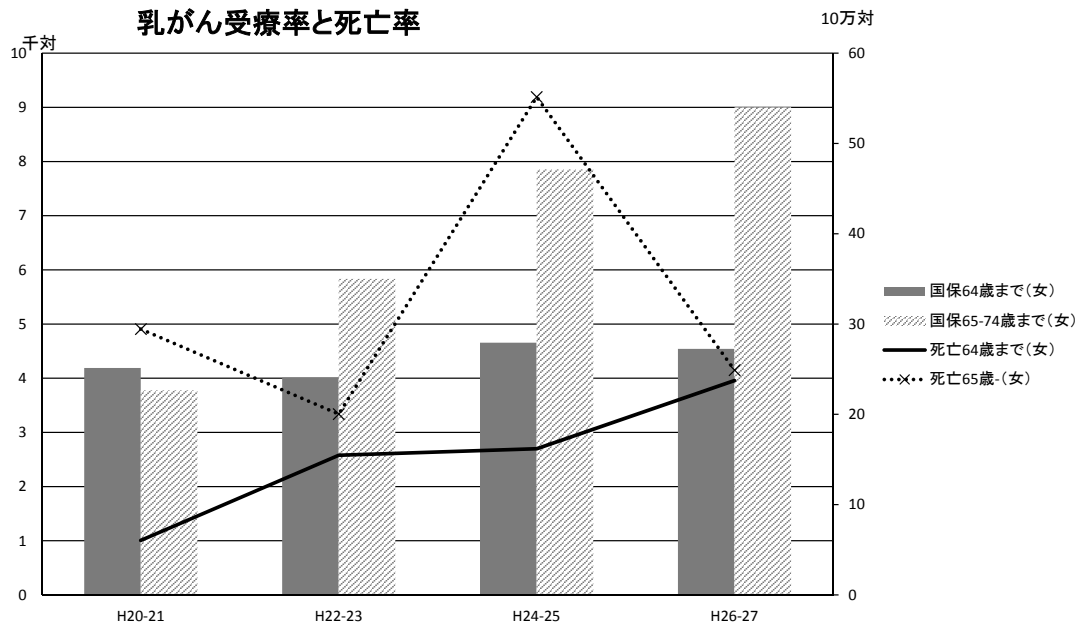
乳がんの死亡、受診



乳がんの医療費、コスト

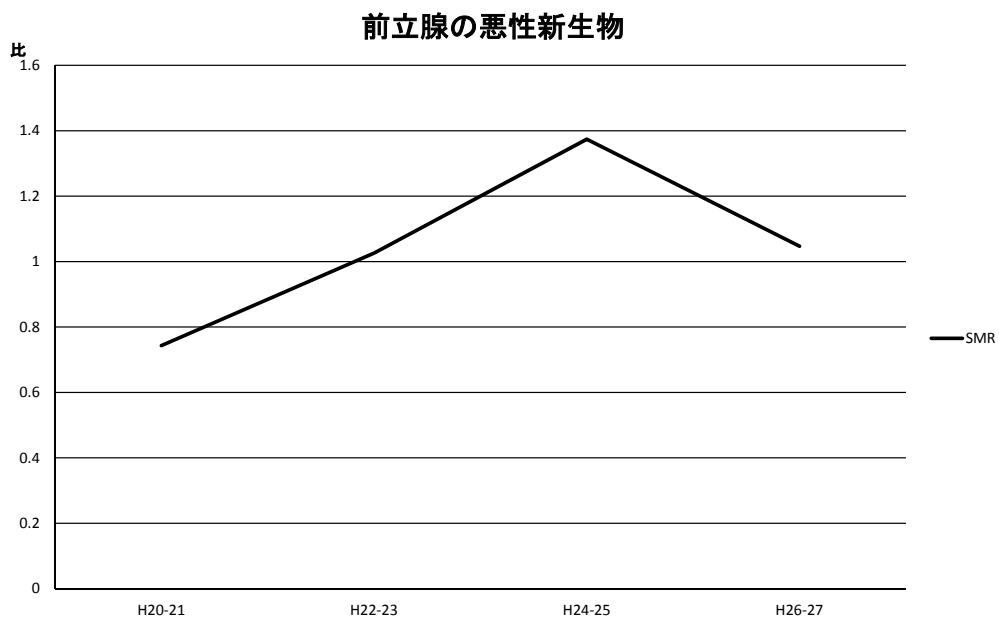


乳がんの年齢階級別



25

前立腺の悪性新生物の死亡



26

悪性新生物のまとめ

- 医療費、コストとも増加傾向
- 特に、上昇しているのは、結腸癌と乳がん、また肺がんも受診が上昇している。

27

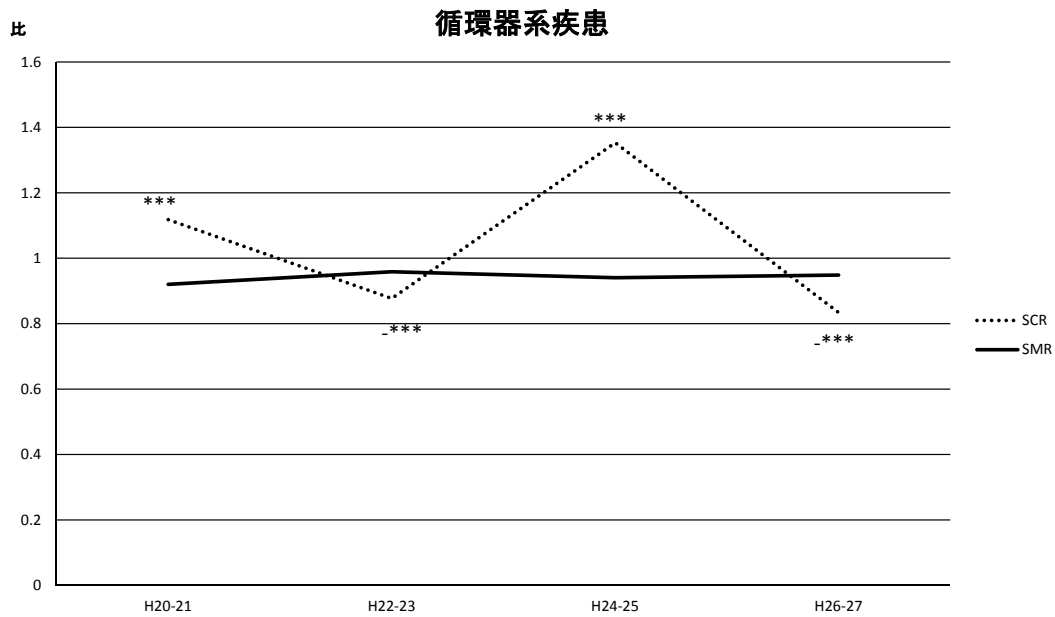
27

循環器系疾患

28

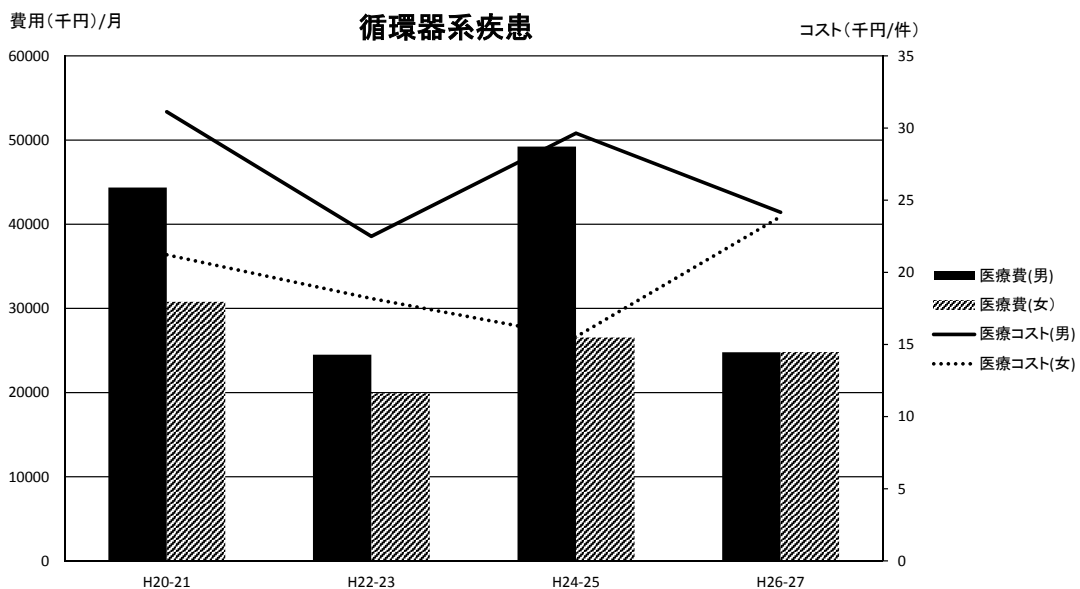
28

循環器系疾患の死亡と受診



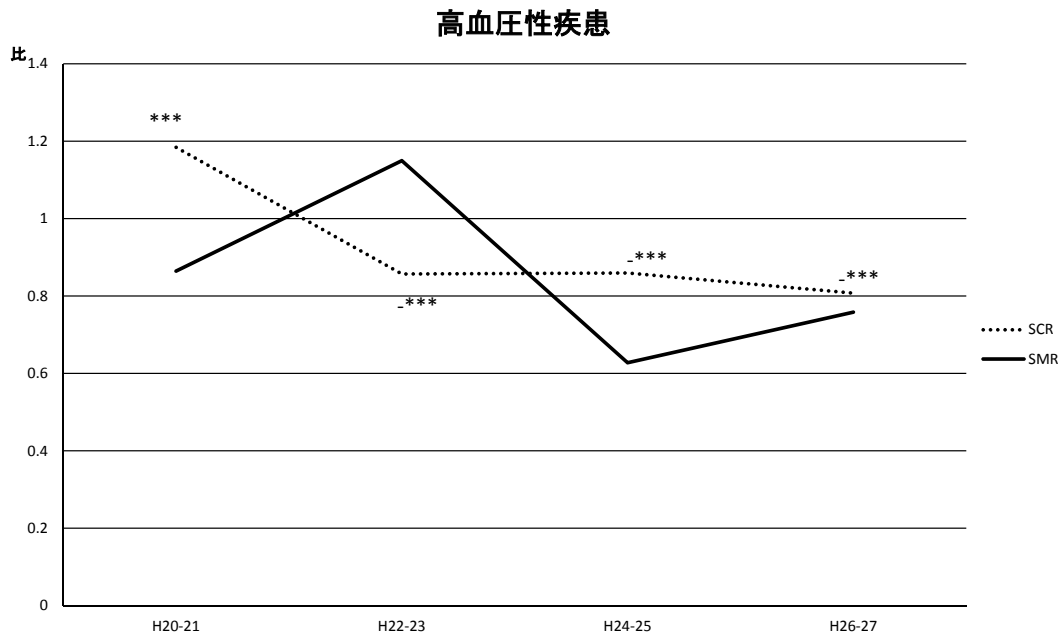
29

循環器系疾患の医療費、コスト



30

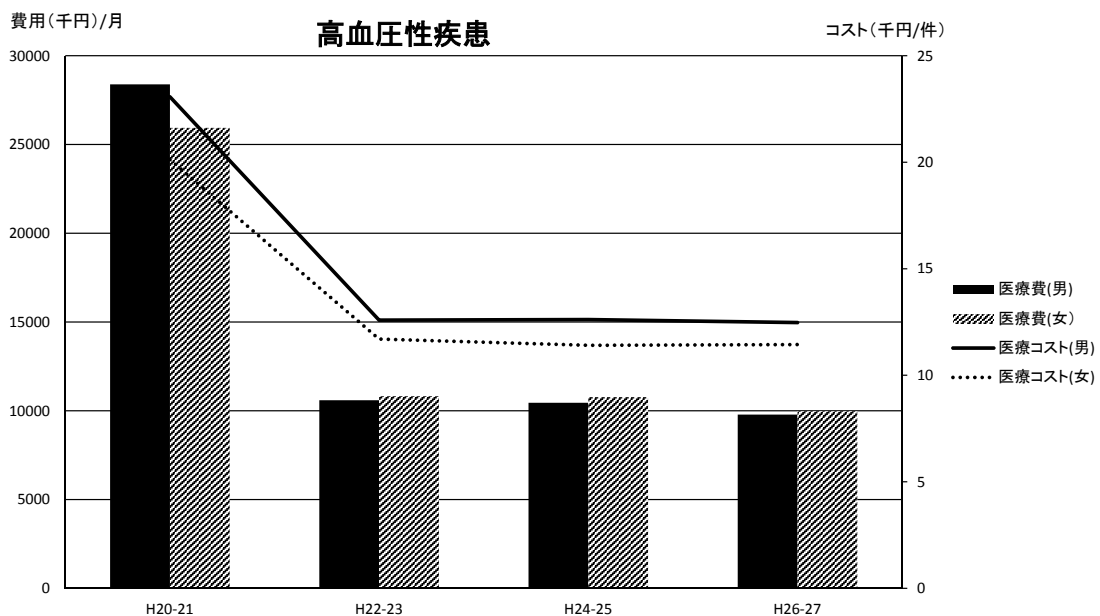
高血圧性疾患の死亡と受診



31

21

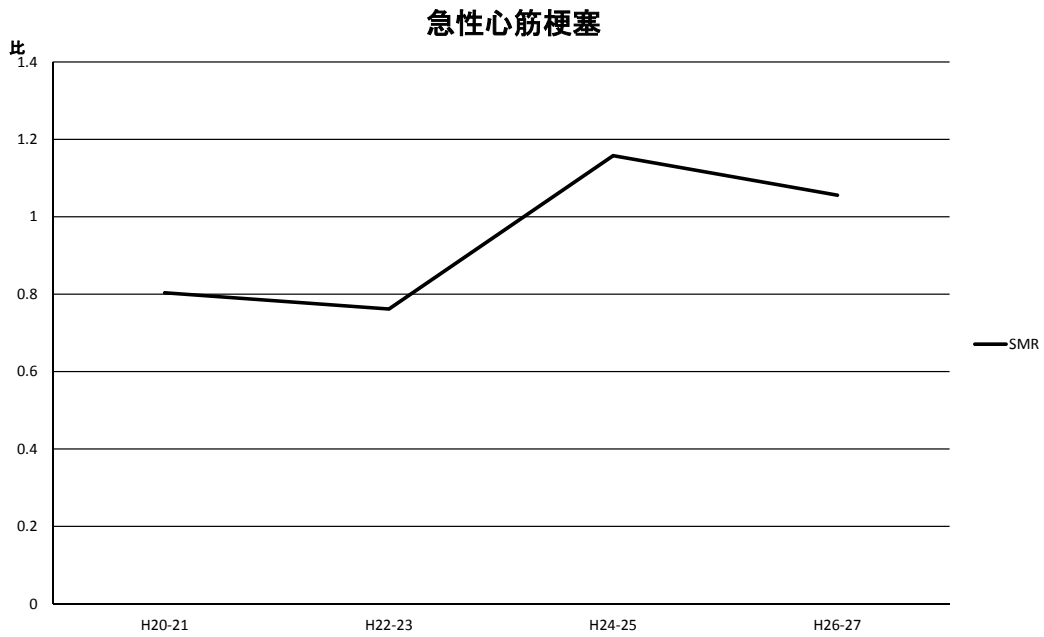
高血圧性疾患の医療費、コスト



32

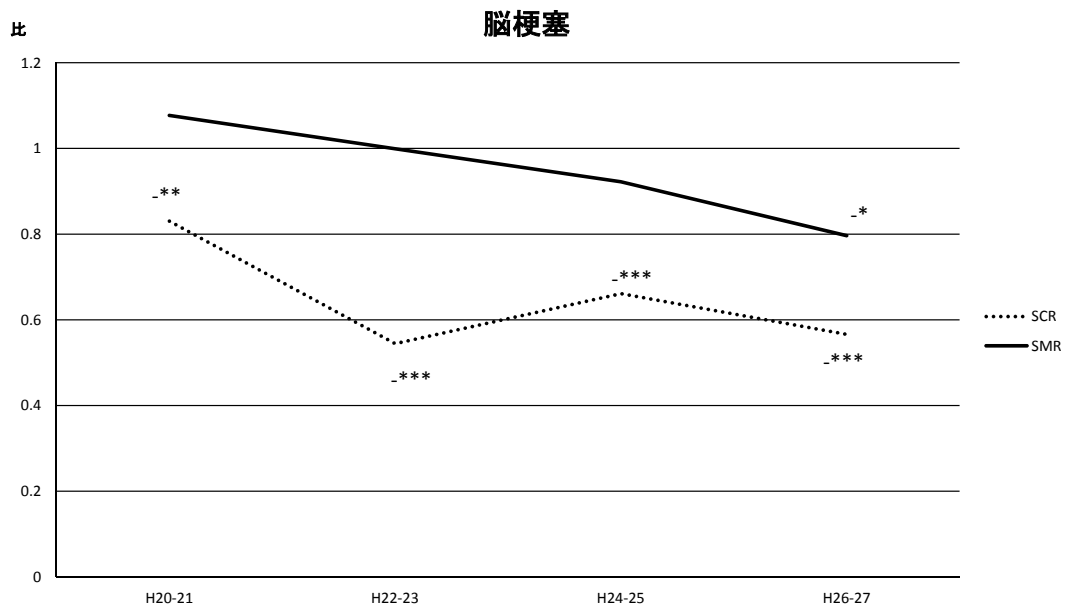
22

急性心筋梗塞の死亡



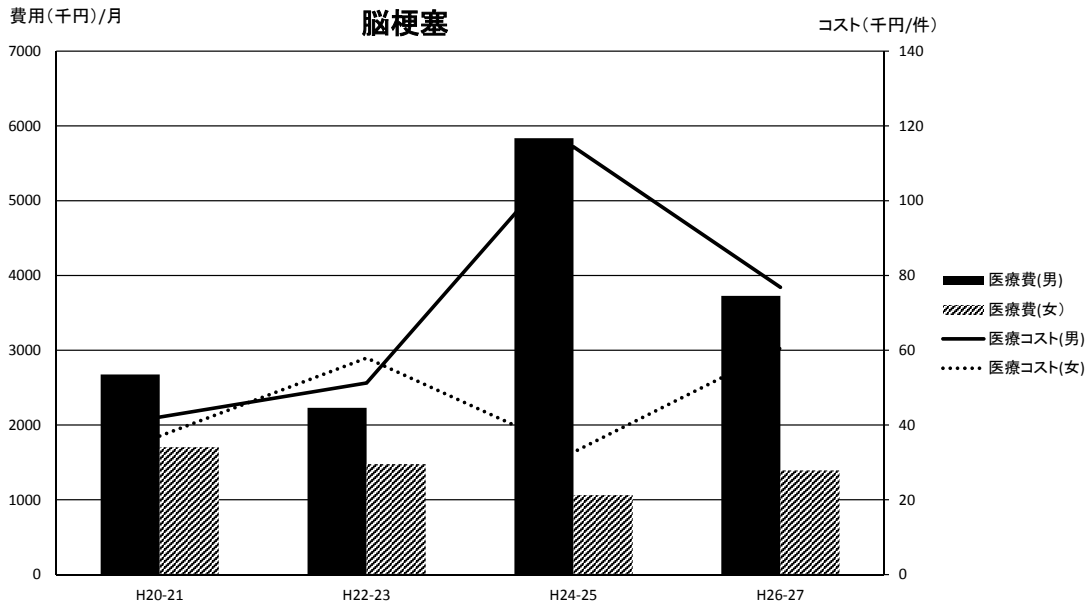
33

脳梗塞の死亡と受診



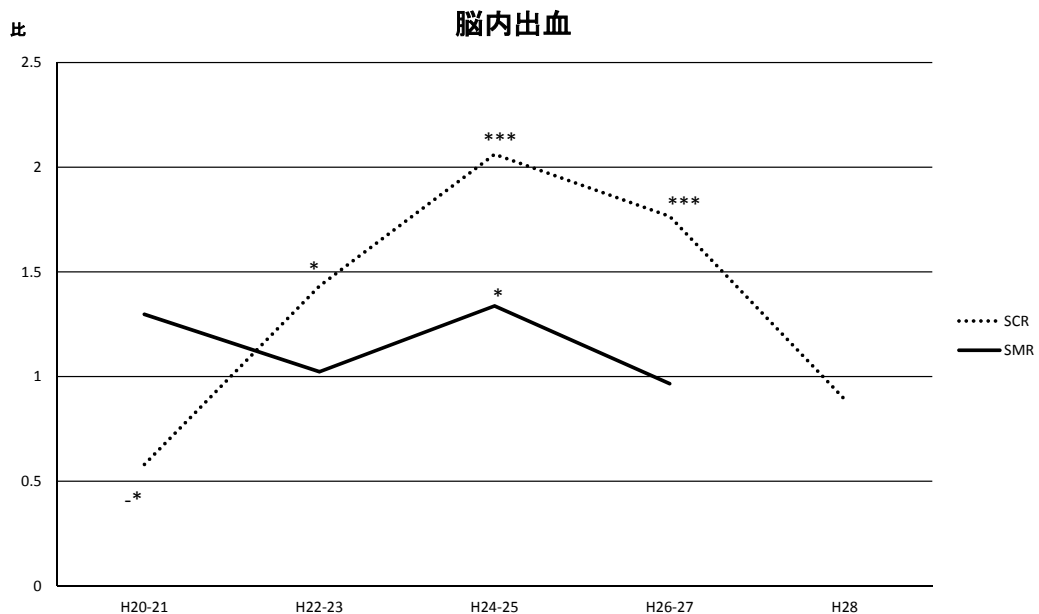
34

脳梗塞の医療費、コスト



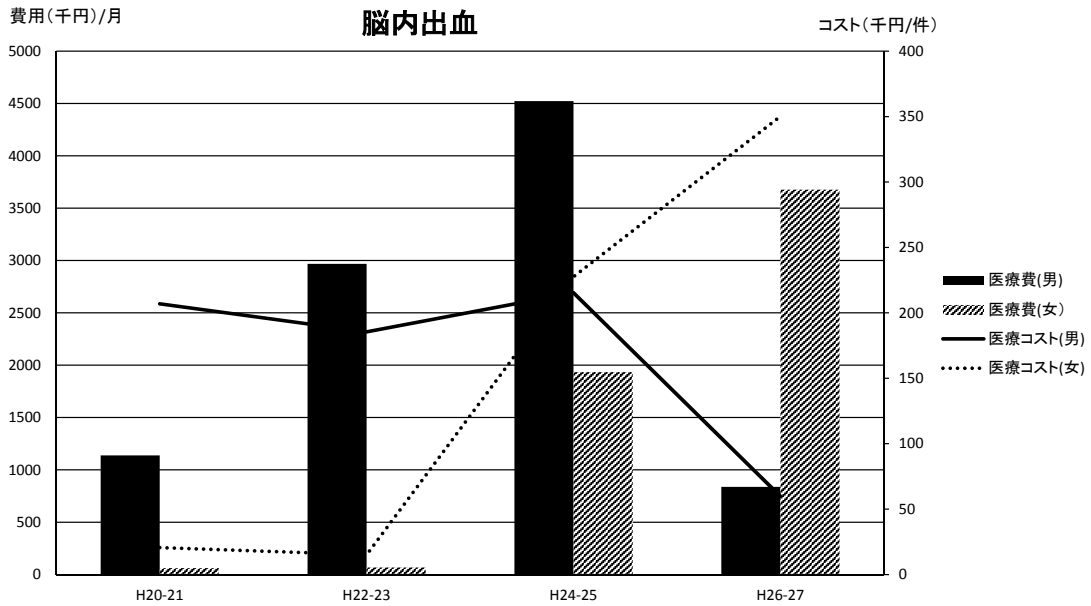
35

脳内出血の死亡と受診



36

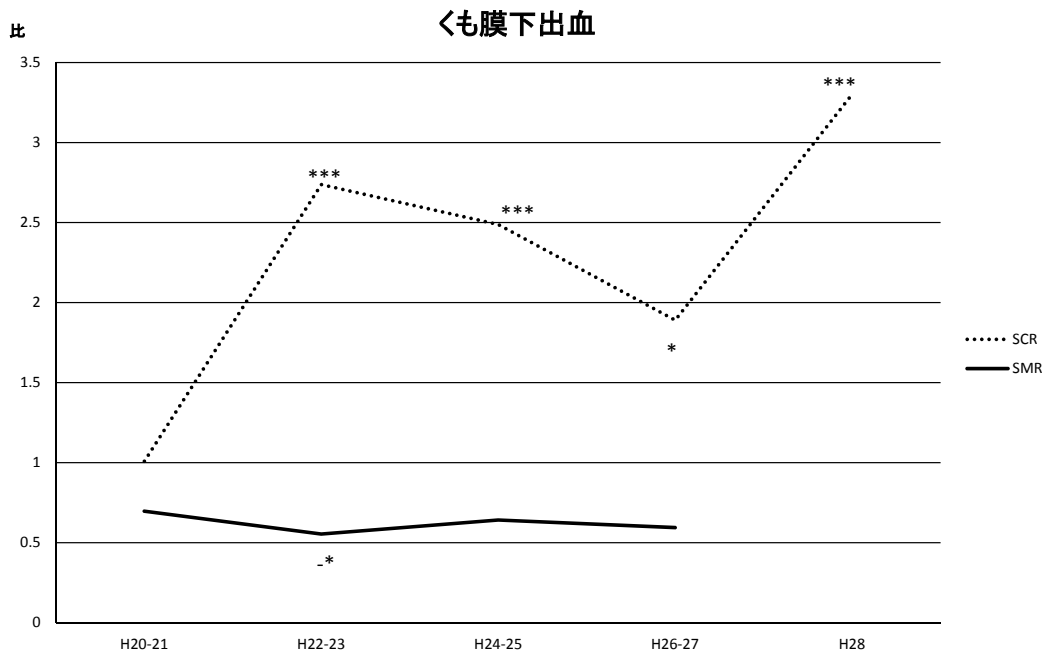
脳内出血の医療費、コスト



37

27

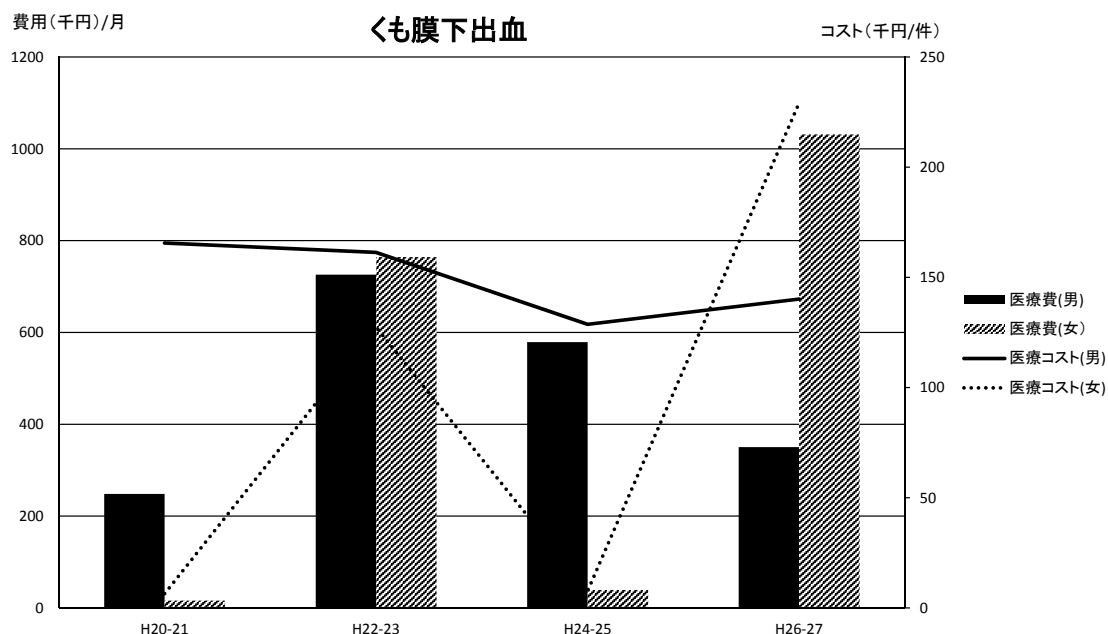
くも膜下出血の死亡と受診



38

28

くも膜下出血の医療費、コスト



39

循環器疾患のまとめ

- 高血圧性疾患の受診率が低下している。
- 脳梗塞の受診率、また死亡率が低下している。(急性期の医療が効果的に行われていると推測される)
- 急性心筋梗塞の死亡が上昇し、くも膜下出血の受診率が上昇している。
- 高血圧患者の長期未受診者の存在が推測される。

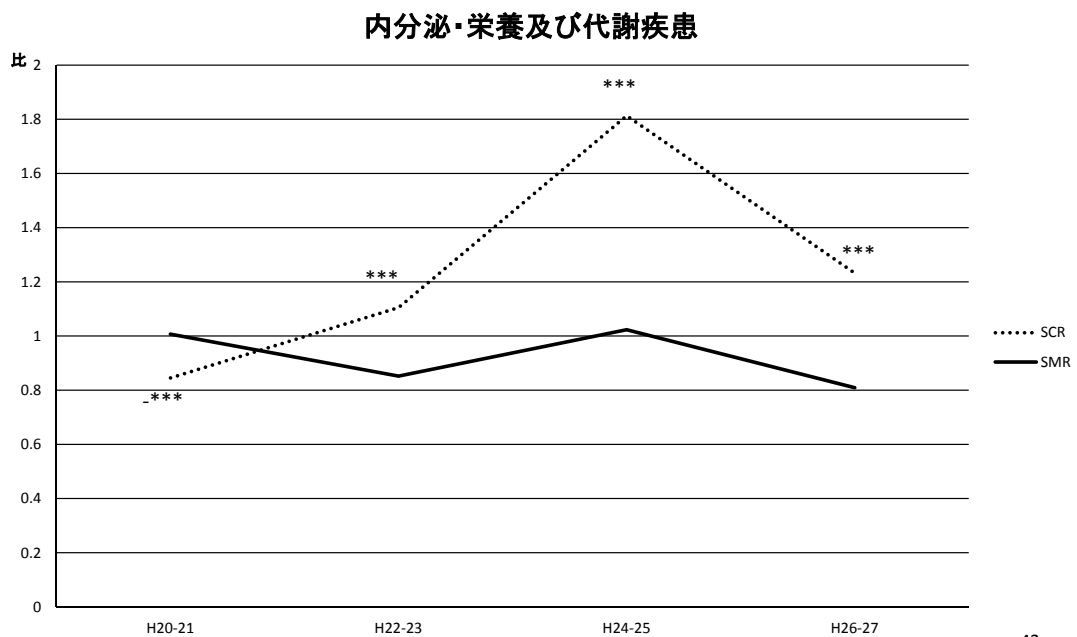
40

内分泌・栄養代謝疾患

41

41

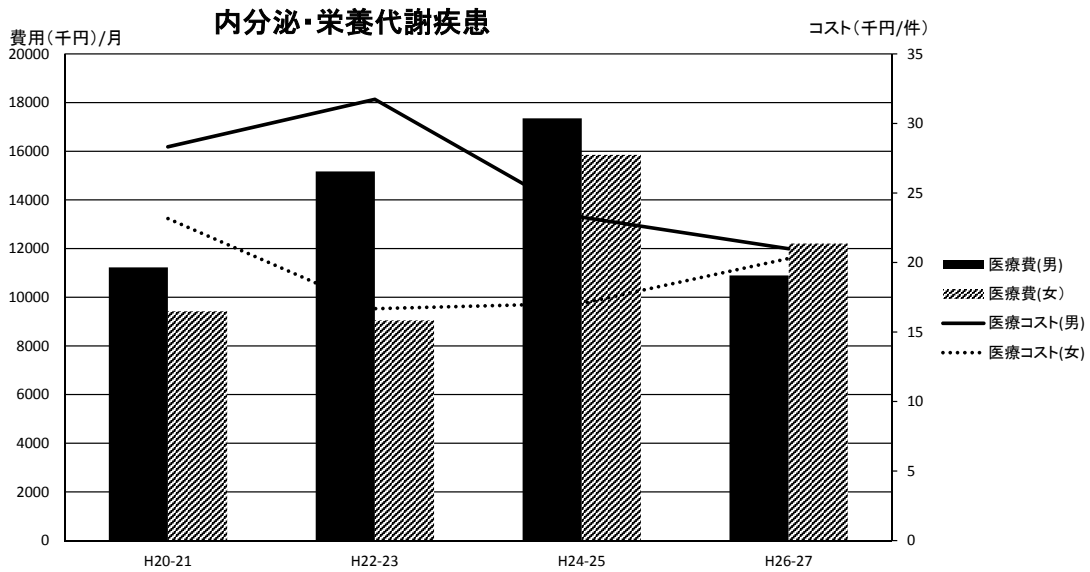
内分泌・栄養及び代謝疾患の死亡、 受診



42

42

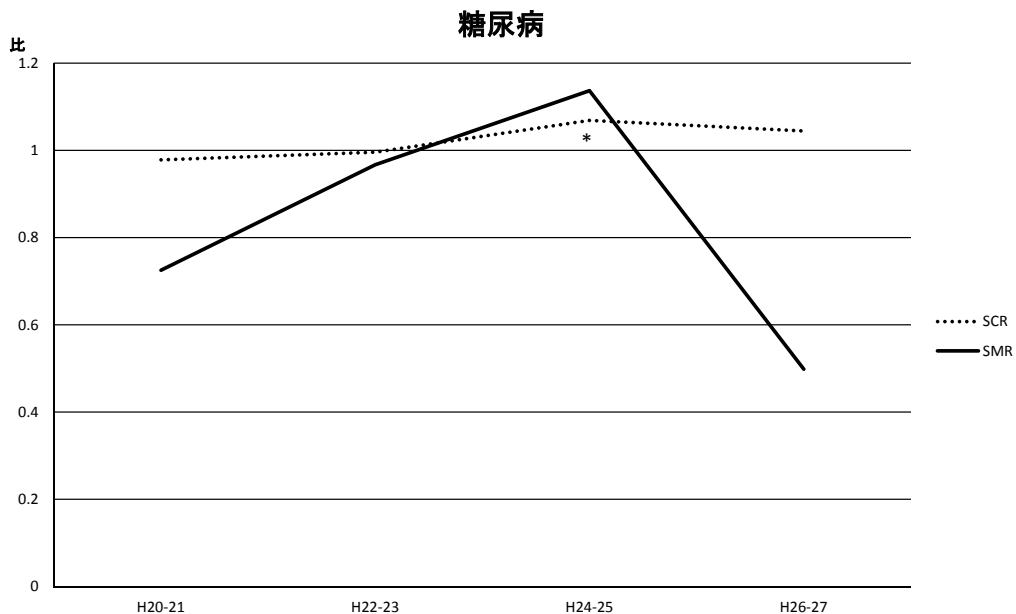
内分泌・栄養及び代謝疾患の医療費、コスト



43

43

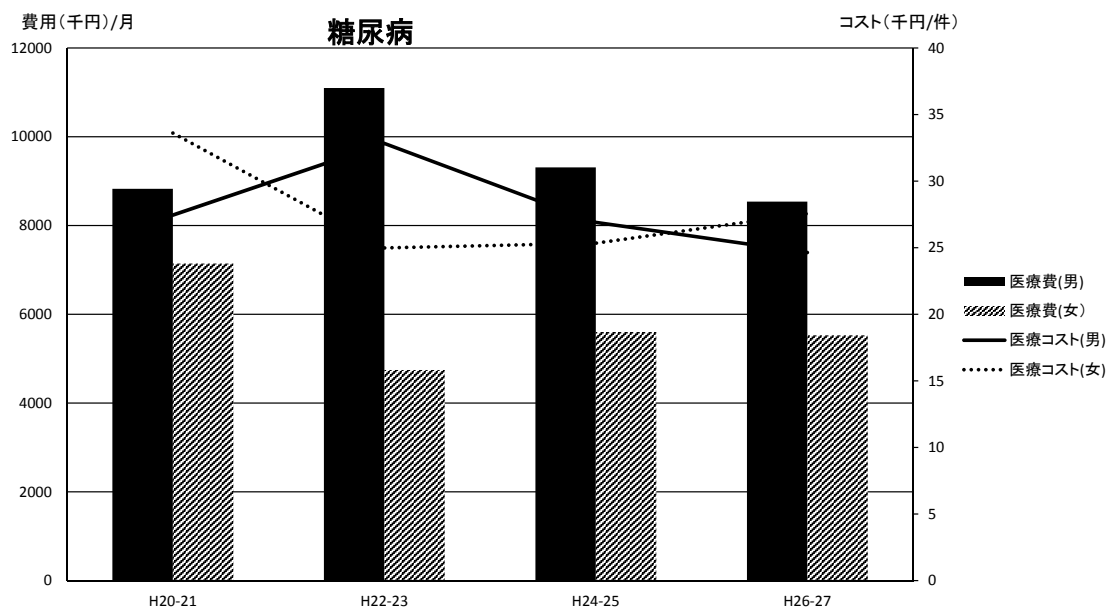
糖尿病の死亡、受診



44

44

糖尿病の医療費、コスト



45

内分泌・栄養代謝疾患のまとめ

- 近年上昇していた医療費は、ピークを越えたと推測される。
- 糖尿病は、死亡が減少している。

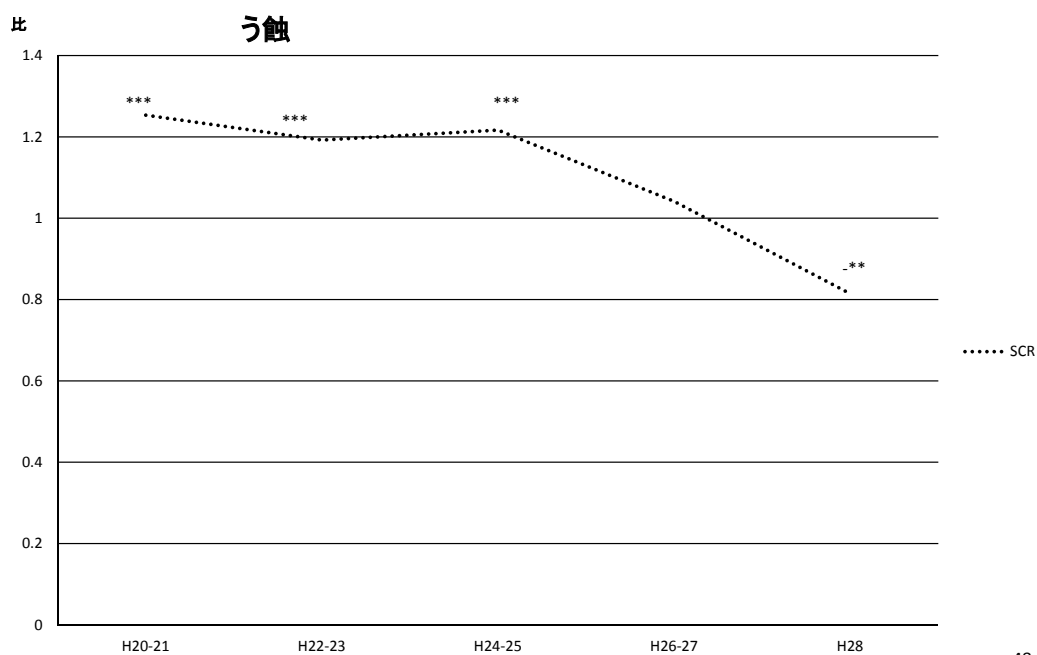
46

歯科疾患

47

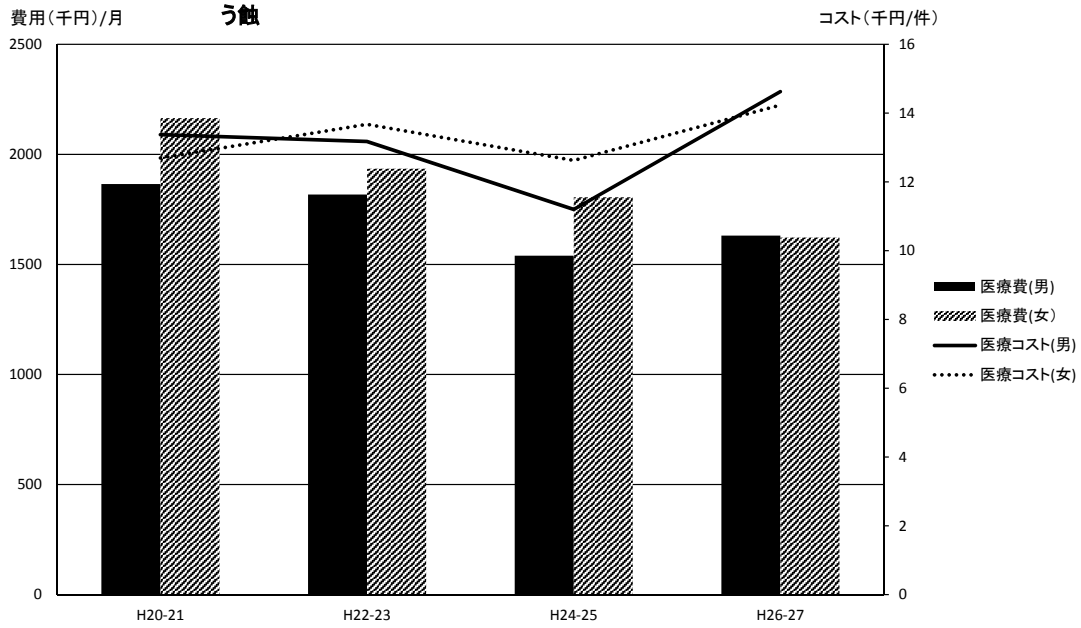
17

う蝕の受診



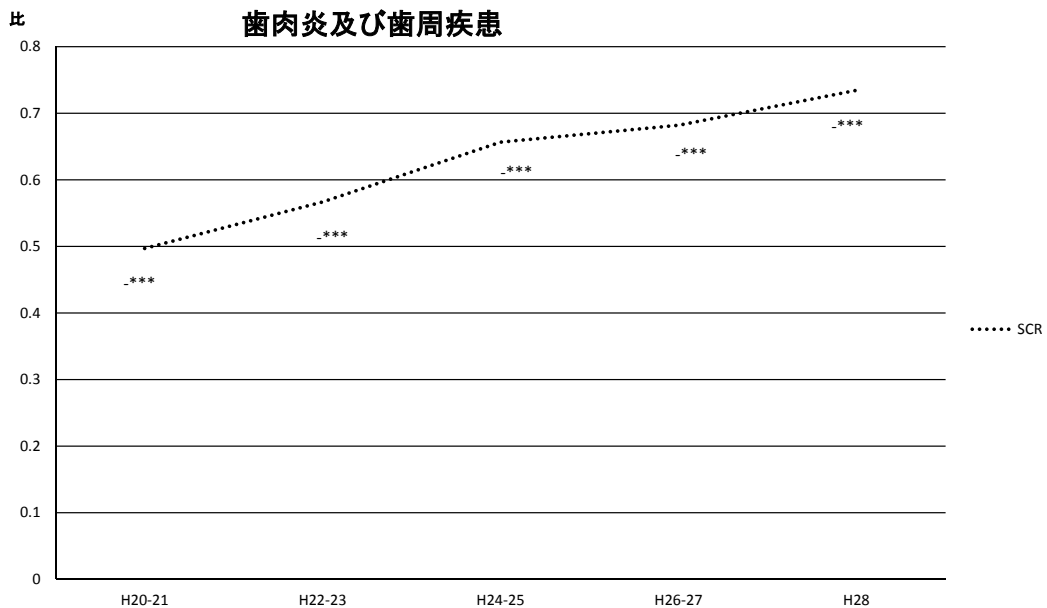
10

う蝕の医療費、コスト



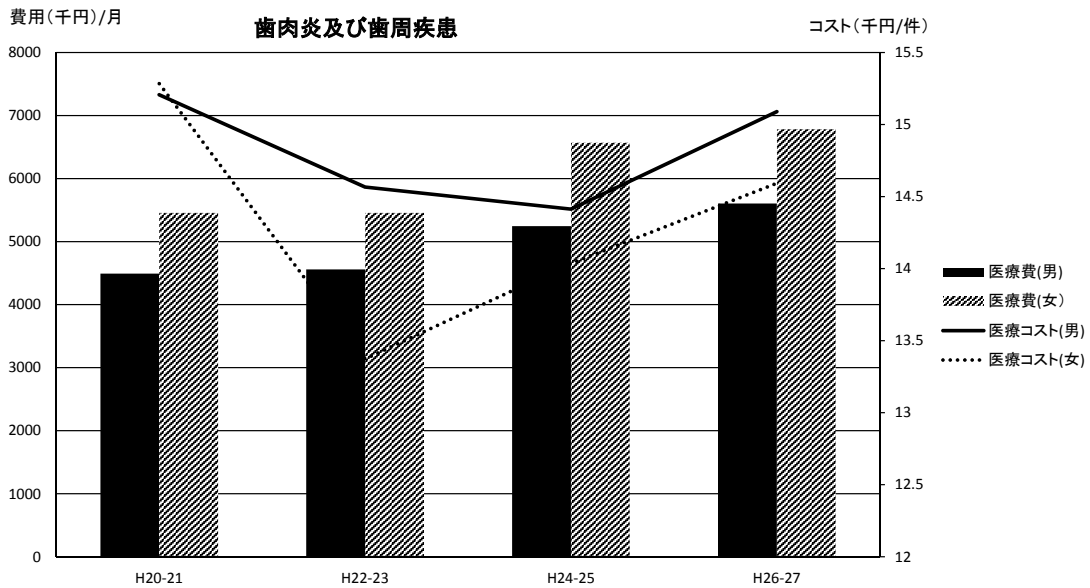
49

歯肉炎及び歯周疾患の受診



50

歯肉炎及び歯周疾患の医療費、コスト



51

51

歯科疾患のまとめ

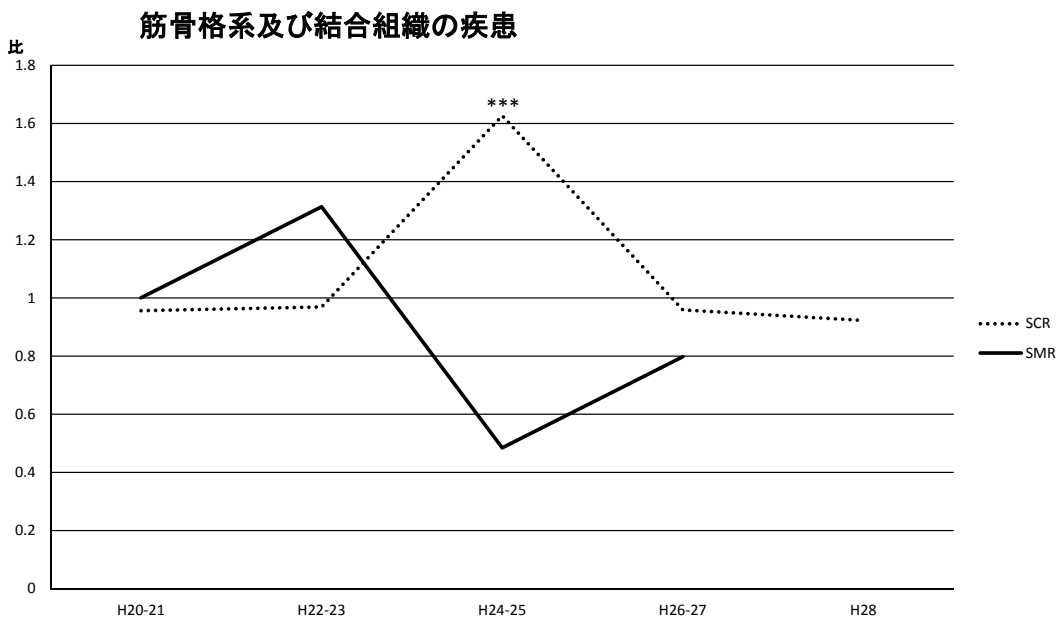
- う蝕と歯周疾患では、歯周疾患の方が医療費が高い。
- う蝕の受診率は低下しており、歯周疾患の受診率は上昇している。

52

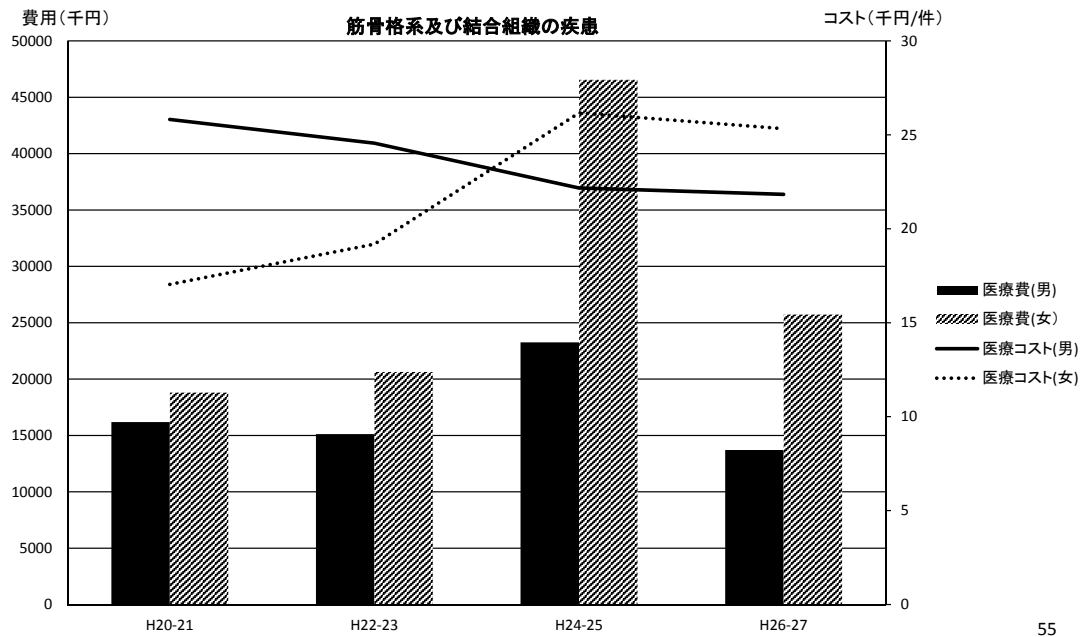
52

支持組織

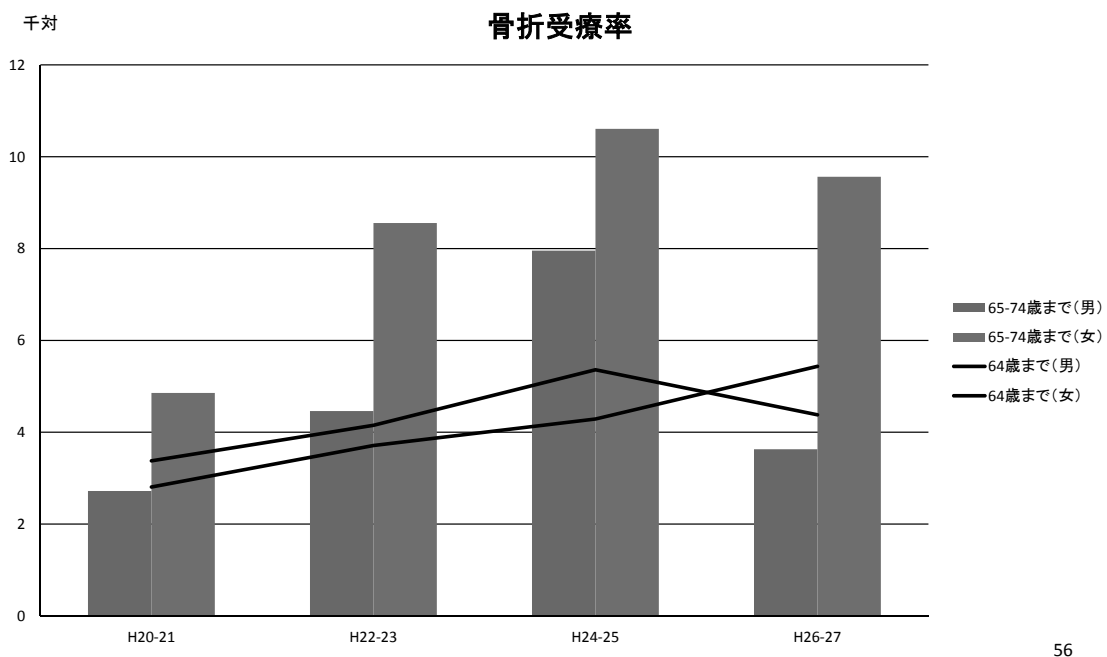
筋骨格系及び結合組織の疾患の死亡、医療費



筋骨格系及び結合組織の疾患の医療費、コスト



骨折の年齢階級別受診



支持組織のまとめ

- 近年上昇していた、筋骨格系疾患の受診はピークを過ぎたと推測される。
- 骨折の受診率は、64歳までの男性では増加しているが、近年横ばい傾向ないし減少傾向である。

57

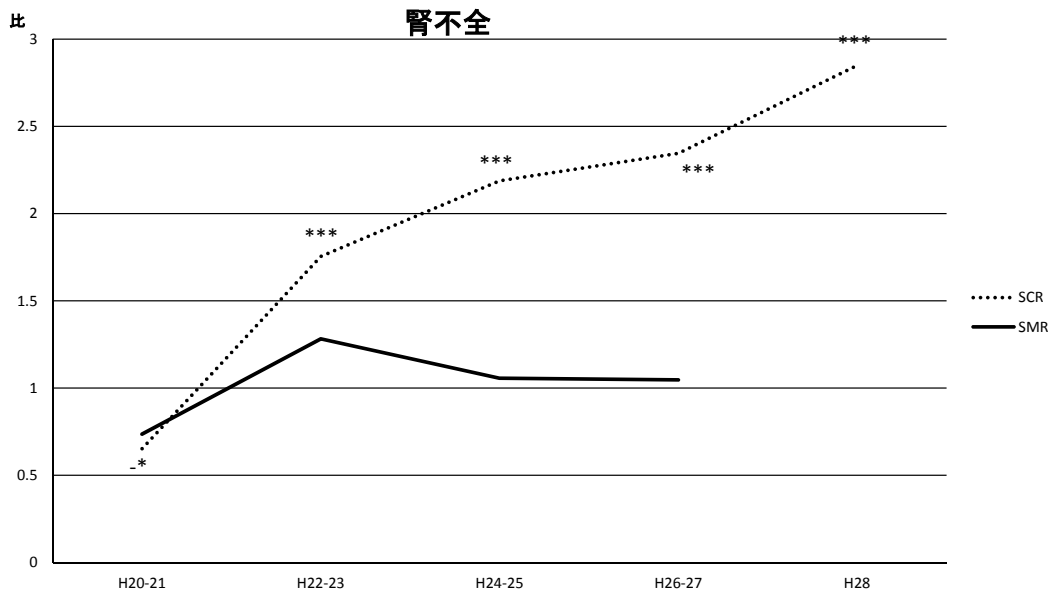
57

腎不全

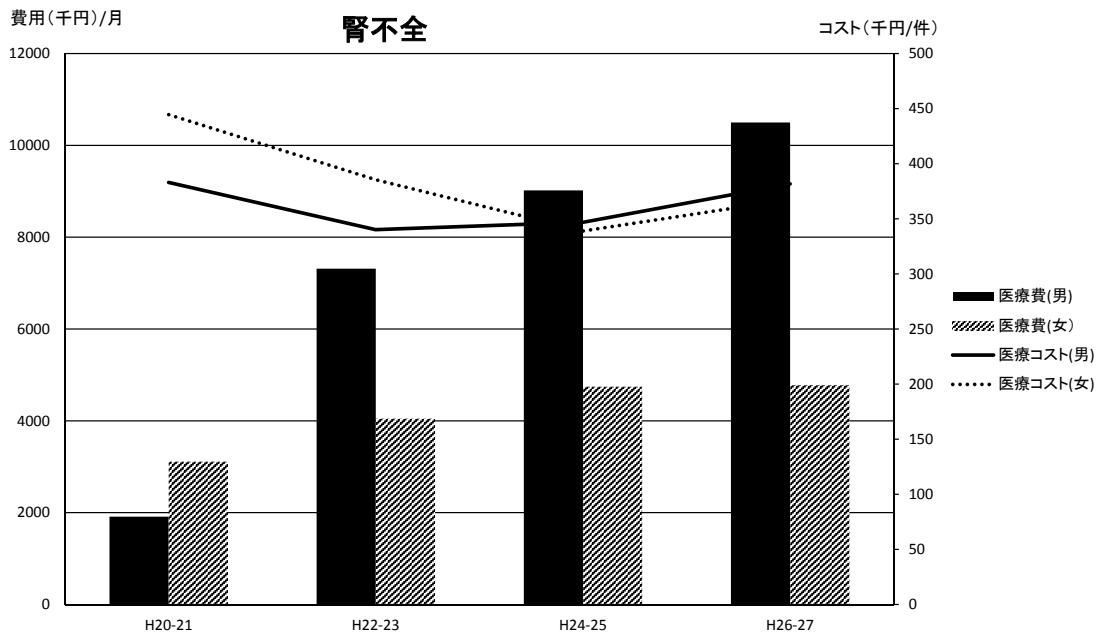
58

58

腎不全の死亡、受診



腎不全の医療、コスト



腎不全のまとめ

- 腎不全の受診率は、上昇しており

61

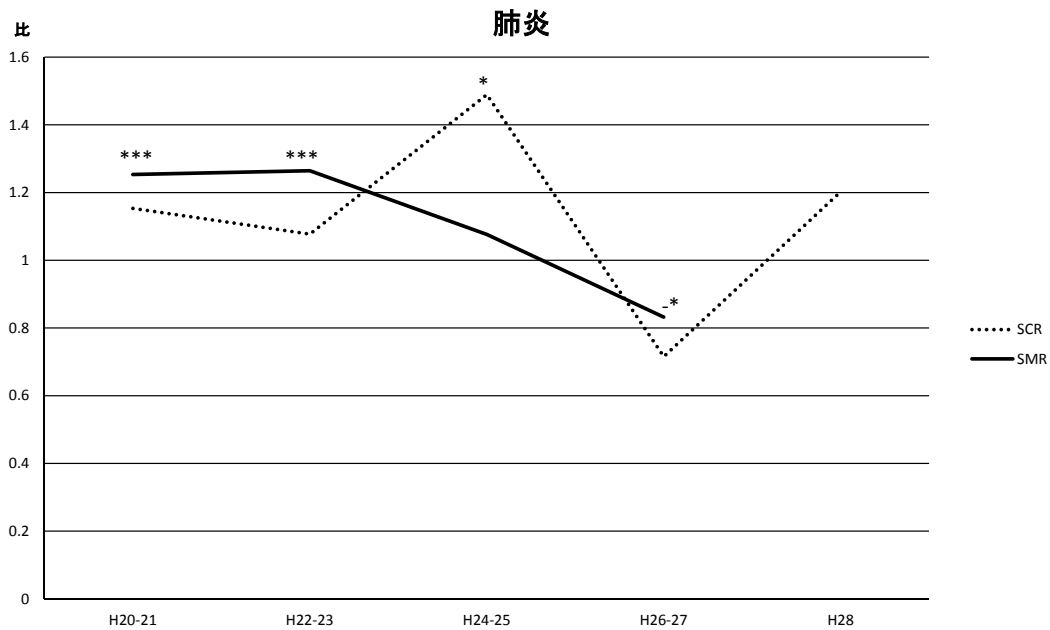
61

肺がん以外の呼吸器系疾患

62

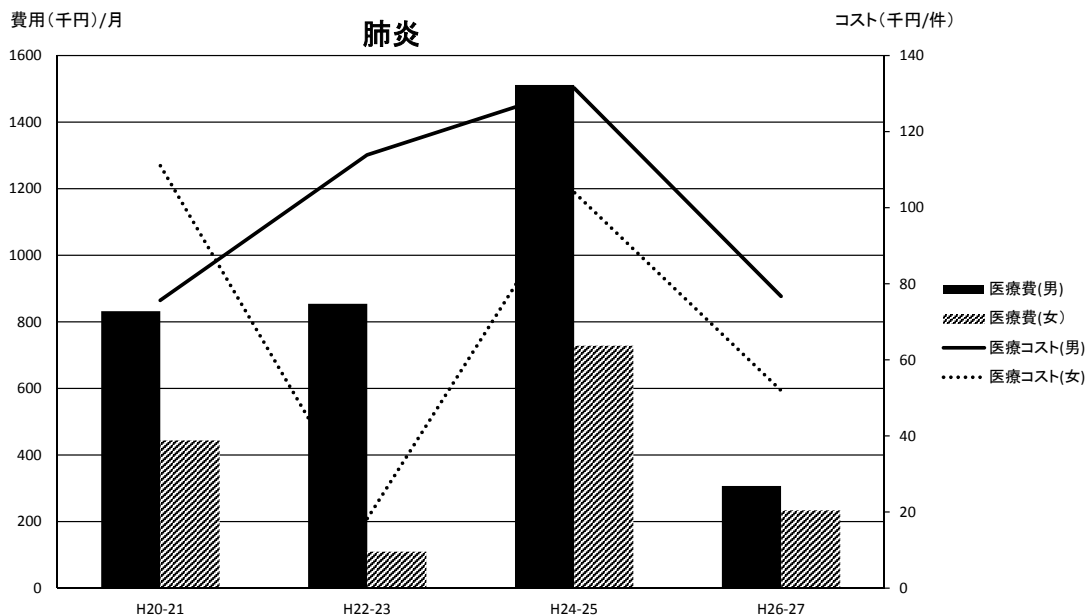
62

肺炎の死亡、受診



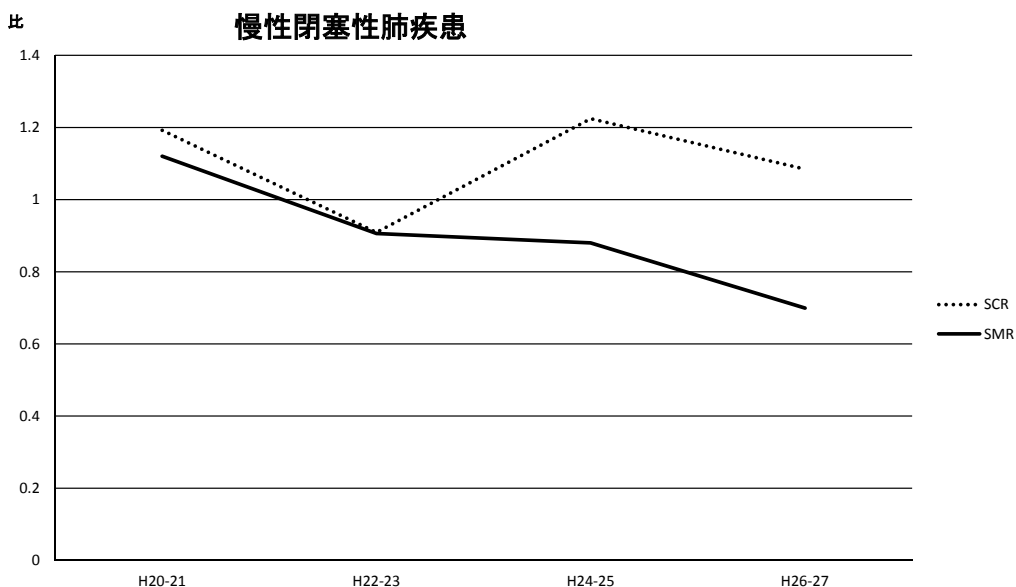
63

肺炎の医療費、コスト



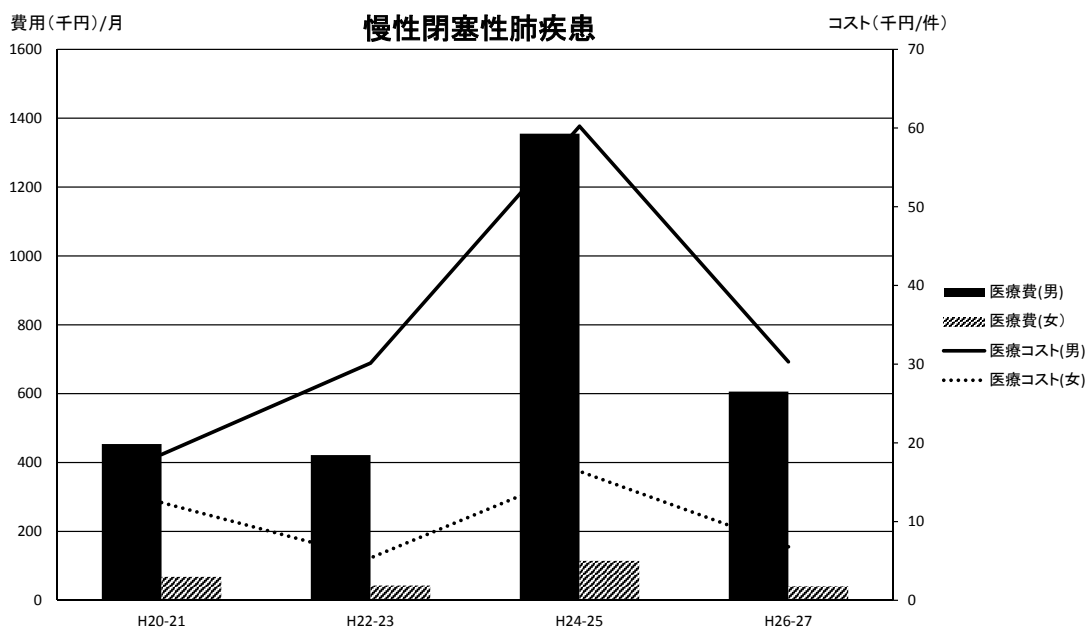
64

慢性閉塞性肺疾患の死亡、受診



65

慢性閉塞性肺疾患の医療費、コスト



66

肺がん以外の呼吸器疾患のまとめ

- 肺炎は近年減少していて、口腔ケアの普及が効果を表していると推測されるが、H28年は再び上昇している。
- 慢性閉塞性肺疾患は、受診、死亡とも減少傾向である。

67

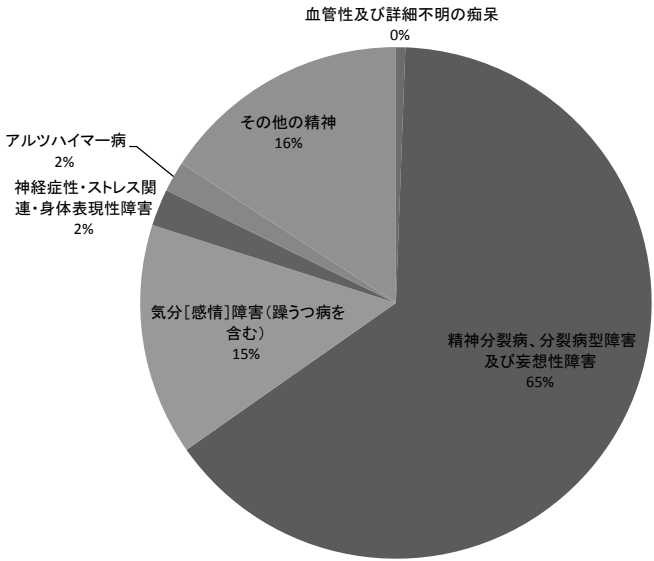
67

精神疾患(抜粋)

68

68

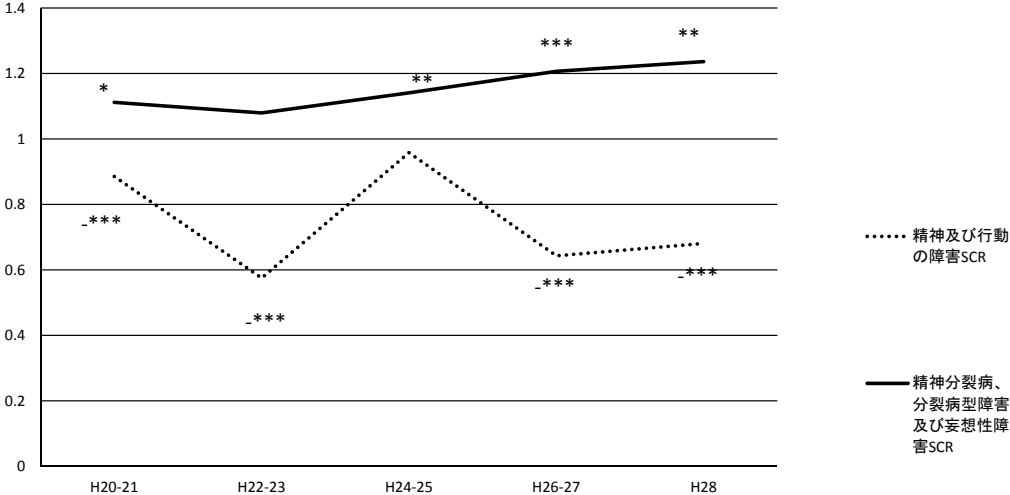
精神及び行動の障害のH26-27の国保5月診療分(74歳まで)の内訳



精神及び行動の障害のSCR

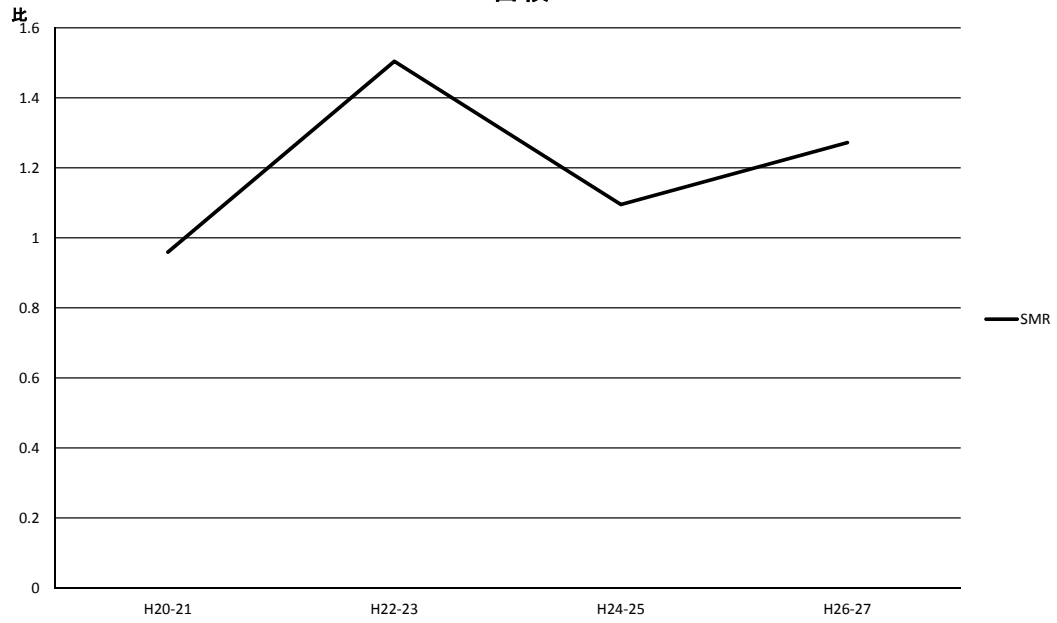
比

精神SCR



自殺

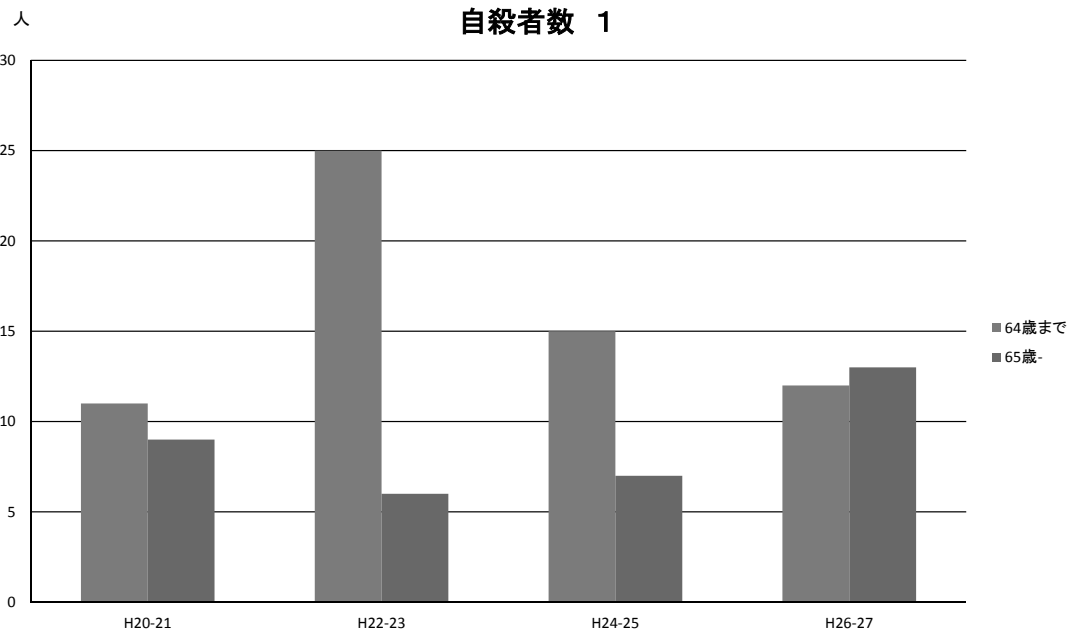
自殺



71

自殺者数

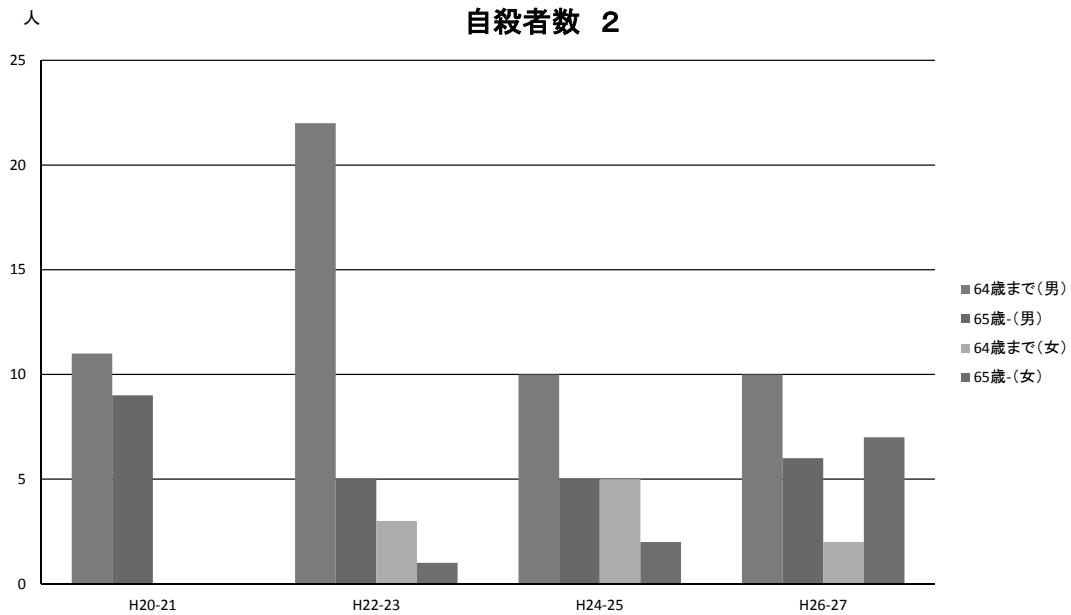
自殺者数 1



72

72

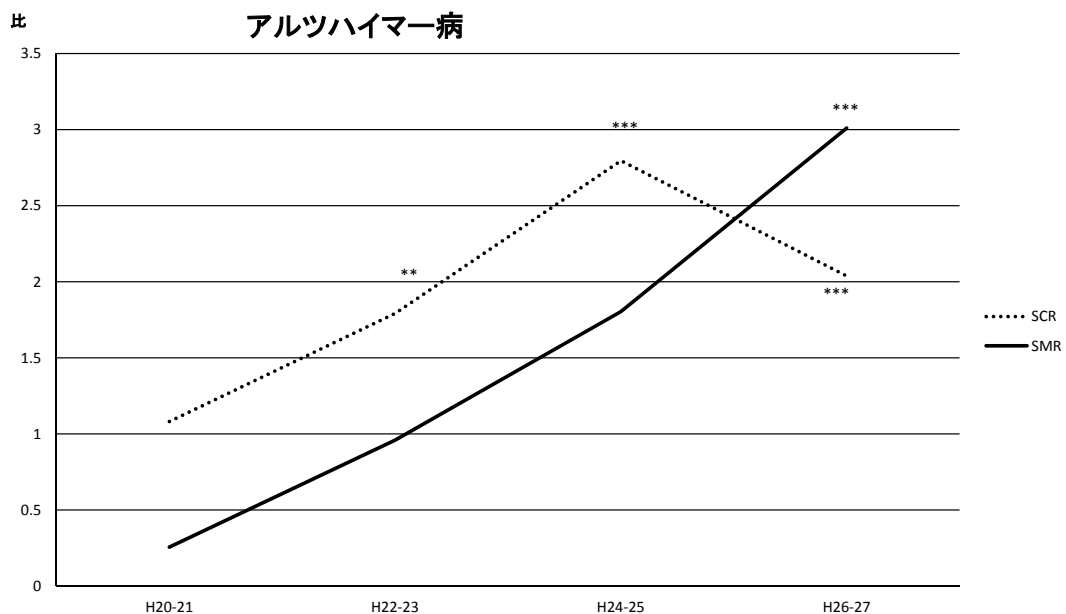
自殺者数(特に女性の75-84歳代)



73

72

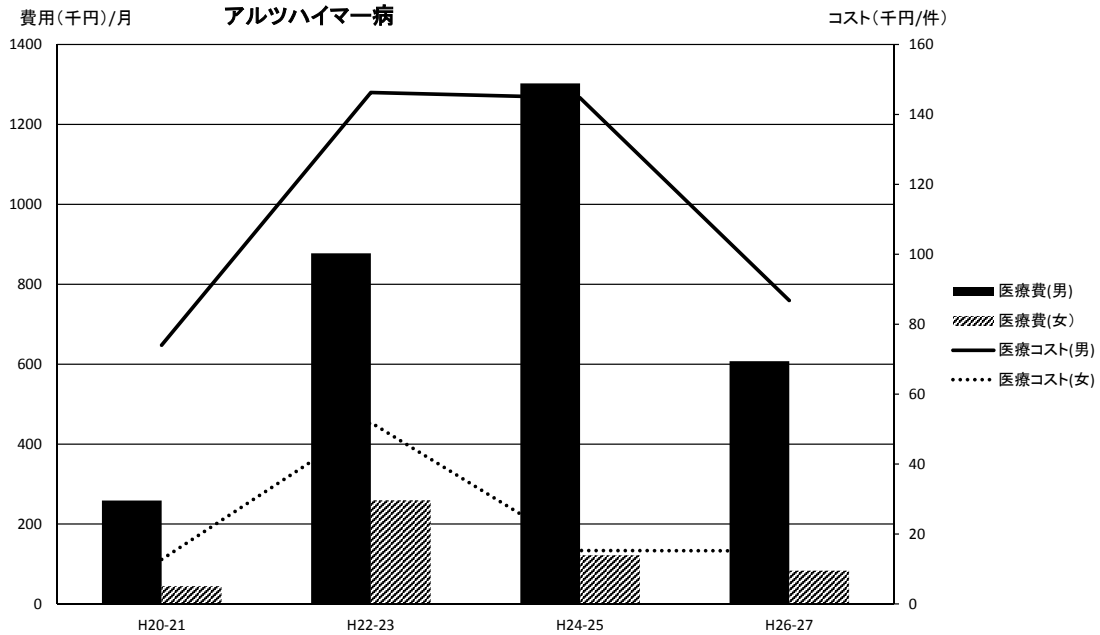
アルツハイマー病の死亡、受診



74

74

アルツハイマーの医療費、コスト



75

精神疾患のまとめ

- 精神及び行動の障害では、医療費は県全体より低いですが、精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害が65%を占めていて、これは高い。
- 自殺者は、近年高齢者に増えている。また、75-84歳代の女性に増えている。
- またアルツハイマーは、近年受診が上昇していたが、それがとまっている。死亡は、上昇している。

76

感覚器

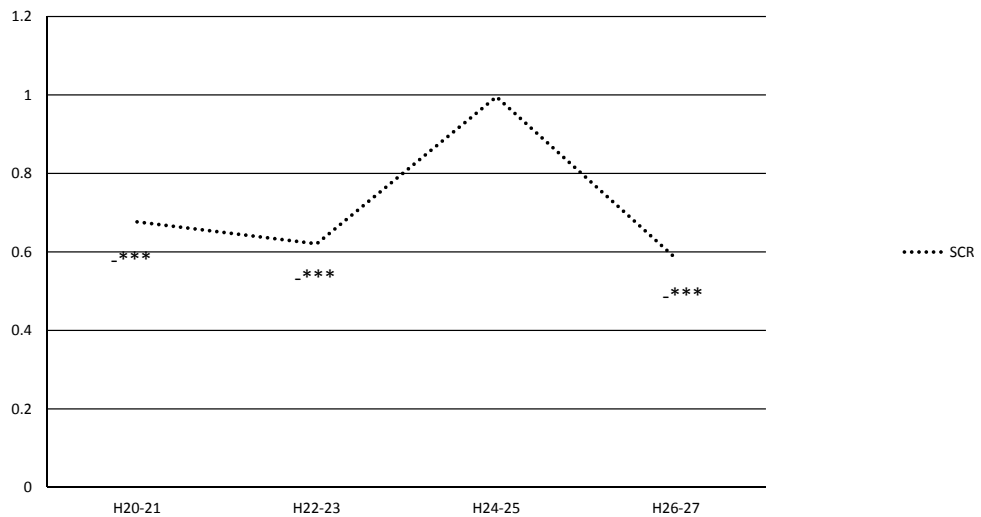
77

77

眼及び付属器の疾患の受診

比

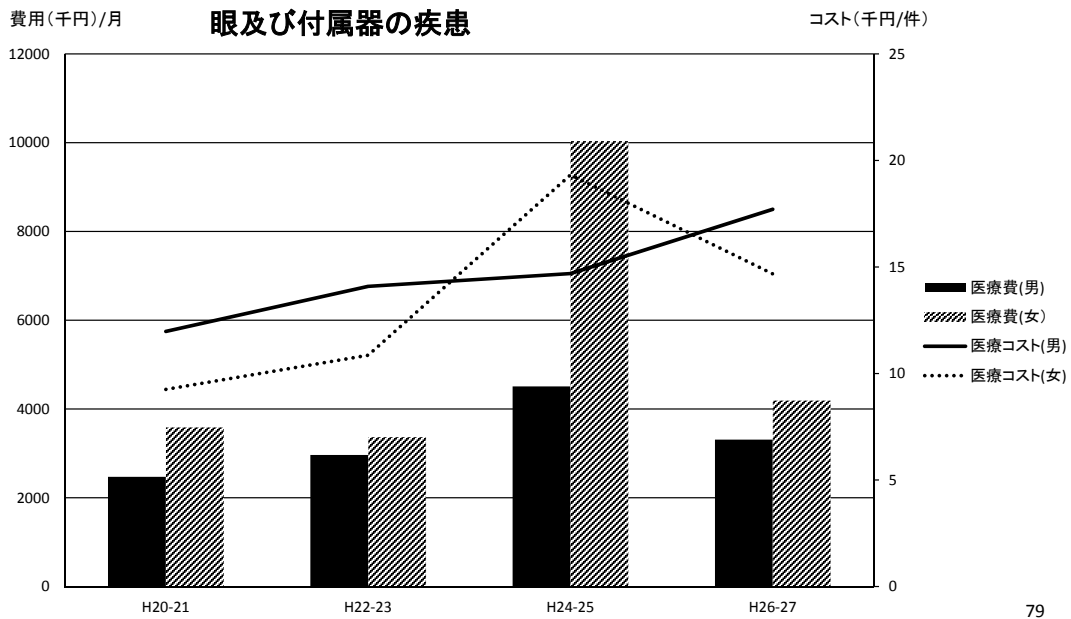
眼及び付属器の疾患



78

70

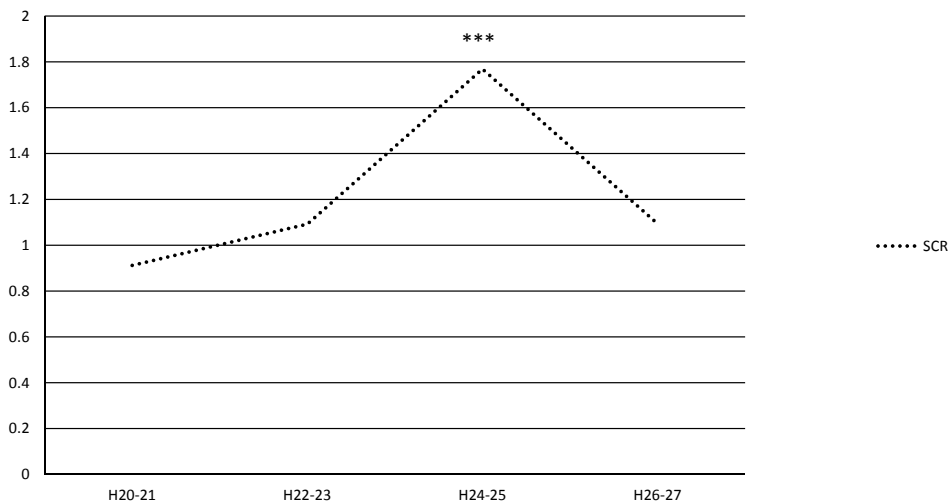
眼及び付属器の疾患の医療費、コスト



79

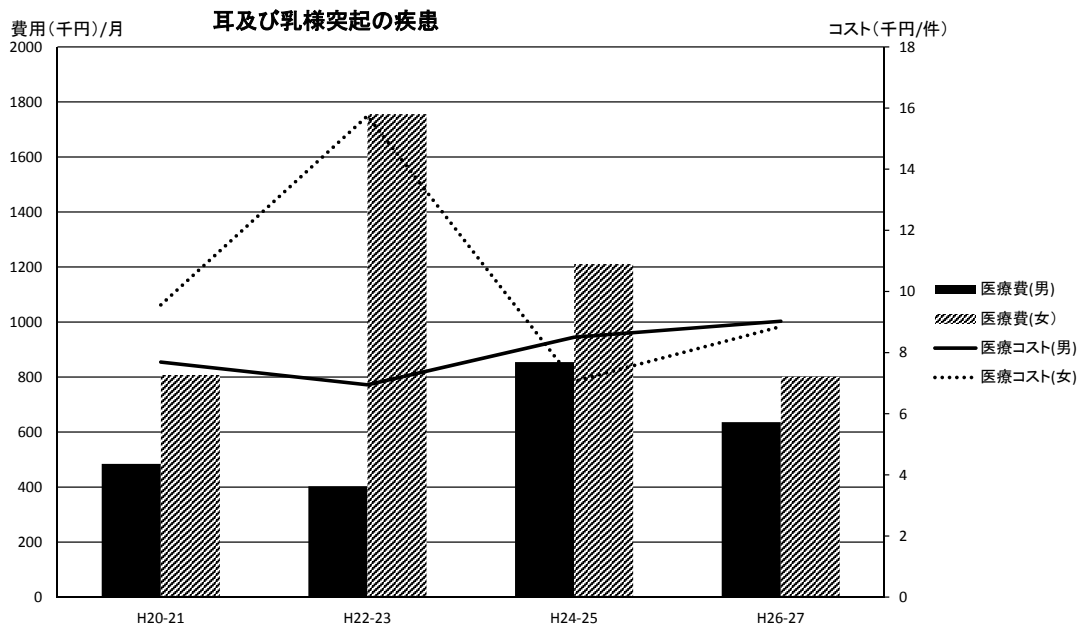
耳及び乳様突起の疾患の受診

比 **耳及び乳様突起の疾患**



80

耳及び乳様突起の疾患の医療費、コスト



感覚器のまとめ

- 眼の疾患は、近年受診が上昇していたが、とまっている。耳の疾患でもほぼ同様である。

改善傾向と評価すべき疾患

- 筋骨格系疾患
- 慢性閉塞性肺疾患
- 肺炎(しかし、去年は上昇している)
- 感覚器疾患

83

悪化傾向、悪化継続傾向

- 結腸癌:特に女性の増加が著しい
(増加+医療費のコストの増加と推測)
- 直腸S状結腸癌:男性の医療費増加が著しい
(悪化継続+医療費のコストの増加と推測)
- 乳がん:若い人の死亡の増加
- 腎不全:特に男性
(一方で、高血圧や栄養代謝疾患の受診率が減少しているので、放置患者の増加が心配)
- 自殺が、高齢者に増えている傾向にある。

84

わからないもの

- アルツハイマー: 受診率は低下、死亡は上昇している。本当に改善している部分+未受診で将来問題になるケースもあると推測
- 糖尿病: 死亡も下がっているし医療費もやや減少気味か。

85

結論1

- 真庭の課題として、大腸がん対策と、腎不全対策があげられる。大腸がんは、がん検診受診率、精密検査受診率の向上、腎不全は糖尿病や高血圧で、長期に受診していない患者へのアクセスが必要→
- 真庭市医師会の診療所の先生方の声掛け
- 愛育委員の声掛け
- 一般広報活動

86

結論2

- 自殺予防のため：声掛け運動、高齢者で、身体が十分に動けない場合の生活保障環境の充実
- 認知症対策として、かかりつけの医師が気付いた時の受診勧奨の重要性
- 真庭市の認知症初期集中支援チーム
- 認知症疾患医療センター